

重要文化財埼玉県後谷遺跡出土品保存修理事業

未来へ繋ぐ 縄文の美と技



重要文化財埼玉県後谷遺跡出土品保存修理事業

未来へ繋ぐ 縄文の美と技



桶川市教育委員会

目次

I よみがえる後谷遺跡出土品…………… 2

1 土の道具【土器・土製品】…………… 3

2 木の道具【木器・木製品】…………… 12

3 漆塗りの道具【漆製品】…………… 14

4 石の道具【石器・石製品】…………… 16

5 後谷遺跡出土品保存修理事業実績…………… 19

II 保存修理の現場から ―よりよい保存と活用を目指して―…………… 20

III 埼玉県後谷遺跡出土品一覧…………… 25

IV 後谷遺跡を振り返る ―発掘調査者の記録―…………… 41

凡例

- 1 本書は、文化庁の国宝重要文化財等保存・活用事業費国庫補助金を受け平成 24 年度から令和 2 年度まで実施した、重要文化財埼玉県後谷遺跡出土品（考第 598 号）の保存修理事業の成果をまとめたものである。
- 2 本書は、文化財保存事業費関係補助金交付要綱による国宝・重要文化財美術工芸品修理に課す特殊条件「(18) 補助事業者は、補助事業で得られた知見について情報発信等の措置をしなければならないこと。」に基づき作成するもので、作成にあたっては令和 2 年度国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金を活用した。
- 3 本書の目的は、保存修理事業の成果と知見を発信するものであって、後谷遺跡出土品全点（645 点）について紹介、解説等をしたものではない。
- 4 本書に掲載の写真は、保存修理事業委託の受託者より提供を受けたほか、桶川市教育委員会生涯学習文化財課文化財係及び桶川市歴史民俗資料館の職員が撮影した。
- 5 本書掲載の出土品写真のキャプションにある番号は、桶川市教育委員会がその管理のために、後谷遺跡出土品各個に付している管理番号で、「III 埼玉県後谷遺跡出土品一覧」（以下、一覧表）中の番号に一致する。
- 6 掲載写真の縮尺は同一でなく、出土品の計測値については一覧表を参照されたい。なお、表中計測値の（ ）内数値は残存値を示す。
- 7 本書の執筆（Ⅰ～Ⅲ章）及び編集は、藤沼昌泰（桶川市教育委員会生涯学習文化財課文化財係）が行った。また、第Ⅳ章の執筆は、橋本富夫（元桶川市歴史民俗資料館長）が行った。

【事業目的】

重要文化財埼玉県後谷遺跡出土品について、将来に渡り良好な状態で保存・活用するために、出土品の劣化や損傷等を防ぐために必要な保存修理を実施し、それらの保存台座・保存箱等の作製を行う。

【全体の事業期間】

平成 24 年 4 月から令和 3 年 3 月までの 9 ヶ年

【事業体制】

主体者	桶川市教育委員会
事務局	桶川市教育委員会生涯学習スポーツ課（平成 24 年度～平成 25 年度） 桶川市教育委員会生涯学習文化財課（平成 26 年度～令和 2 年度）

【総事業費及び国庫補助金額】

（単位：円）		
事業年度	総事業費	国庫補助
平成 24 年度	4,990,000	2,495,000
平成 25 年度	4,992,300	2,496,000
平成 26 年度	4,984,540	2,492,000
平成 27 年度	4,593,280	2,296,000
平成 28 年度	3,999,280	1,999,000
平成 29 年度	4,993,440	2,496,000
平成 30 年度	5,001,812	2,500,000
令和元年度	4,502,300	2,250,000
令和 2 年度	5,012,250	2,505,000
総 計	43,068,882	21,529,000

【修理内容の概要】

出土品の解体修理、強化処理、保存台座・保存箱の作製等（詳細は本書に収録）

本事業は、文化庁の文化財保存事業費国庫補助金の交付を受けて実施しました。
本書は、令和 2 年度の文化庁文化財保存事業費国庫補助金の交付を受けて作成しました。
Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the fiscal



Ⅰ よみがえる後谷遺跡出土品

後谷遺跡は、1 万年間以上にも及ぶ長い縄文時代の中でも終わりのほうの時期である縄文時代後期から晩期にあたる時期で、当時の縄文人たちが生活した跡が残された遺跡です。発掘調査は、昭和 41 年から平成 4 年までの間に 5 回にわたって行われました。調査で見つかった遺物は膨大な量で、土で作った道具（土器・土製品）、石で作った道具（石器・石製品）、木で作った道具（木器・木製品）に加え、これらの道具に漆などで色を塗って美しく仕上げた道具（漆製品）などが見つかりました。

このうち、最も大規模な発掘調査が行われた第 4 次発掘調査で見つかった遺物のうち、遺跡の特徴をよく示す特に重要なもの 645 点が重要文化財に指定されました。「関東地方における縄文時代後期から晩期にかけての生業や技術、精神活動を知る上で極めて重要な一括資料である」ことが評価されたものです。

土の道具には耳飾りを着けた様子が表現された土偶や、緻密で赤彩も美しい耳飾りなどがあります。木の道具では、狩に使う弓をはじめ櫂状の道具や石斧を装着する道具などがあり、それらには完成品だけでなく作り途中の未完成品もたくさんあります。当時の生業や木工技術を復元する上でとても重要です。漆を塗った道具も豊富で、櫂の歯が残っている赤漆塗りの櫂などは全国的にもとても珍しく、縄文時代の漆工芸技術を復元する上でとても貴重なものです。

これらの優れた文化財を、たくさんの人に見てもらい、知ってもらい、学んでもらい、ずっと遠くの未来まで大切に引き継いでいけるように、平成 24 年から令和 2 年までの 9 年間をかけて保存のための修理を続けてきました。2 千年以上も前の人々が大切に使った道具の数々が、当時の美しさを取りもどしました。縄文人たちが逞しく生きた証がいつの世までも受け継がれてゆくことを願って、その修理の成果をここに紹介します。



木器・木製品の出土状況（後谷遺跡第 4 次発掘調査）

1 土の道具【土器・土製品】

後谷遺跡からは、たくさんの土で作った道具類が見つかりました。その数は破片もあわせると膨大な量ですが、その中から、遺存状態や造形の優れたものが重要文化財になりました。

「土器」は、縄文時代の遺物の中でも最もよく知られているものです。土器には、用途によって大きさや形にたくさんのバリエーションがあります。中には漆や赤色顔料が付着したものがあります。漆を使って、割れた土器を接着して修理したり、赤や黒に塗り分けて美しく仕上げたりした土器もあります。



土器の出土状況（後谷遺跡第 4 次発掘調査）



1. 深鉢形土器



2. 深鉢形土器



3. 深鉢形土器



4. 深鉢形土器



5. 深鉢形土器



6. 深鉢形土器（破片）



7. 深鉢形土器



16. 鉢形土器



17. 鉢形土器（器壁全体に煤がこびりついたもの）



8. 鉢形土器（亀裂を漆でふさいだもの）



9. 鉢形土器



10. 鉢形土器



18. 鉢形土器



20. 鉢形土器（漆液がたれた痕跡が残る）



11. 鉢形土器



12. 鉢形土器



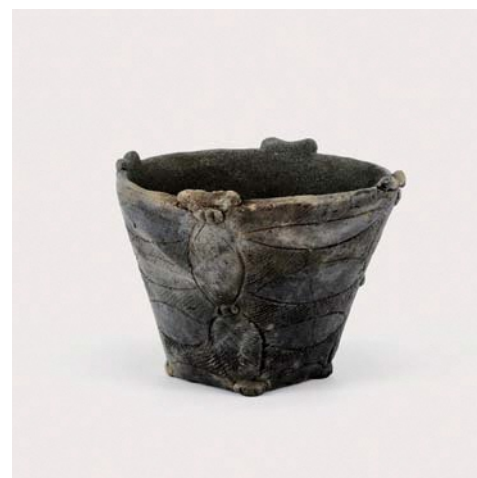
13. 鉢形土器



19. 鉢形土器



14. 鉢形土器



15. 鉢形土器



21. 鉢形土器



22. 浅鉢形土器



23. 浅鉢形土器



24. 浅鉢形土器



25. 浅鉢形土器



26. 浅鉢形土器



(後列左から) 36 ~ 53. 小形土器



27. 壺形土器



30.29.28. 注口土器



31.33.32. 異形土器



34. 異形土器



71. 漆・顔料付着土器 (漆液容器)



74. 漆・顔料付着土器 (割れを漆で接着したもの)



72. 漆・顔料付着土器 (折損した注口土器の口を貝殻と漆でふさいでいたもの)

「土偶」は、縄文時代を代表する遺物として知られます。お祭りの道具と考えられており、妊娠した女性^{かたど}を象ったものが多く作られました。後谷遺跡からは山形土偶、ミミズク土偶、遮光器土偶が出土し、大きさや形も様々です。全身を漆で赤く塗ったミミズク土偶は、耳に木が入れており、縄文人が耳飾りをつけている様子を表したものです。このような木質^{そうしよくひよう}での装飾表現^{げん}が残る土偶は、たいへん珍しいものです。また、猪^{いのしし}を象った土製品や、人の顔を象った土製のお面（土面）、人の顔や模様をつけた土版も見つかりました。土偶などと同じように、お祭りで使われた道具と考えられています。



ミミズク土偶の出土状況（後谷遺跡第4次発掘調査）



109. ミミズク土偶（全身が赤漆で塗られ耳に木質で耳飾りの装着を表現している）



104. 山形土偶



105. 山形土偶



108. ミミズク土偶



115. 中空ミミズク土偶



116. 遮光器土偶



117. 中空ミミズク土偶



121.122. 土面

後谷遺跡で特徴的な出土品である「耳飾り」は、縄文人の代表的なアクセサリーです。円形で厚さは1～2cmくらいですが、大きさは様々です。漆や赤色顔料できれいに塗られたものや美しい透かし模様があるものなど、バリエーションも様々です。ピアスのように耳たぶに穴をあけて装着していたと考えられ、その様子はミミズク土偶の耳にも表現されています。



(左上から) 132～175. 耳飾り



(左上から) 176～209. 耳飾り



(左上から) 210～251. 耳飾り



(左上から) 252～317. 耳飾り

2 木の道具 【木器・木製品】

後谷遺跡からは、たくさんの木の道具が見つかりました。作り途中のものも多く、作る過程や木工の技術をよく知ることができます。

「弓（丸木弓）」は、イヌガヤの木を使って作られました。弦を張る部分（弓筈）の細工がよく残っています。太さや長さは様々で、用途の違いを表していると考えられます。長いものでは約 174cmもある長弓も見つかりました。



櫛状木製品の出土状況（後谷遺跡第4次発掘調査）



弓（弓筈部分）

「石斧柄」は、木を切り倒したりするための石の斧（石斧）を装着するための木製の柄です。後谷遺跡からは、石斧が装着される先端部が加工されていない未完成品ばかりが見つかりました。



360. 石斧柄（未完成品）



357. 石斧柄（未完成品）



325. 約 174cmの弓

後谷遺跡に特徴的な木製品に、水をかく櫛のような形に加工された「櫛状木製品」があります。似たような特徴のものをまとめて櫛状木製品と呼んでいますが、櫛の部分の形や柄の長さは様々で、それぞれに使い方がありと考えられますが、まだよくわかっていません。完成品だけではなく、加工途中の未完成品もとても多く、作る工程をよく知ることができます。縄文人にとってとても重要な道具であったことがうかがわれます。その他にも、「棒状木製品」「台状木製品」「容器」「樹皮製品」などが見つかりました。

多くの遺跡では、木を始めとした有機質のものは長い年月をかけ土の中で分解されてしまうためほとんど残りません。しかし、後谷遺跡は低湿地にあったため、こうした有機物の遺物が豊富な地下水の密閉効果により腐らずに残りました。後谷遺跡から見つかった木質遺物の量から、縄文人は土器や石器と同じように多くの木器を使っていたことが分かります。こうした木質遺物は、発掘されて空気に触れた瞬間から乾燥と腐食が始まります。これを食い止めるためにはなるべく早く保存のための科学的処理をする必要があります。後谷遺跡の木器は発掘当時に保存処理を行いましたが、それから 20 年以上が経過し劣化や破損が生じていたため、再び遺物の現状を観察し、それぞれの状態に合わせて保存のための修理を行いました。



（左から）370.364.365.363.362. 櫛状木製品



374. 台状木製品



376. 樹皮製品

3 漆塗りの道具【漆製品】

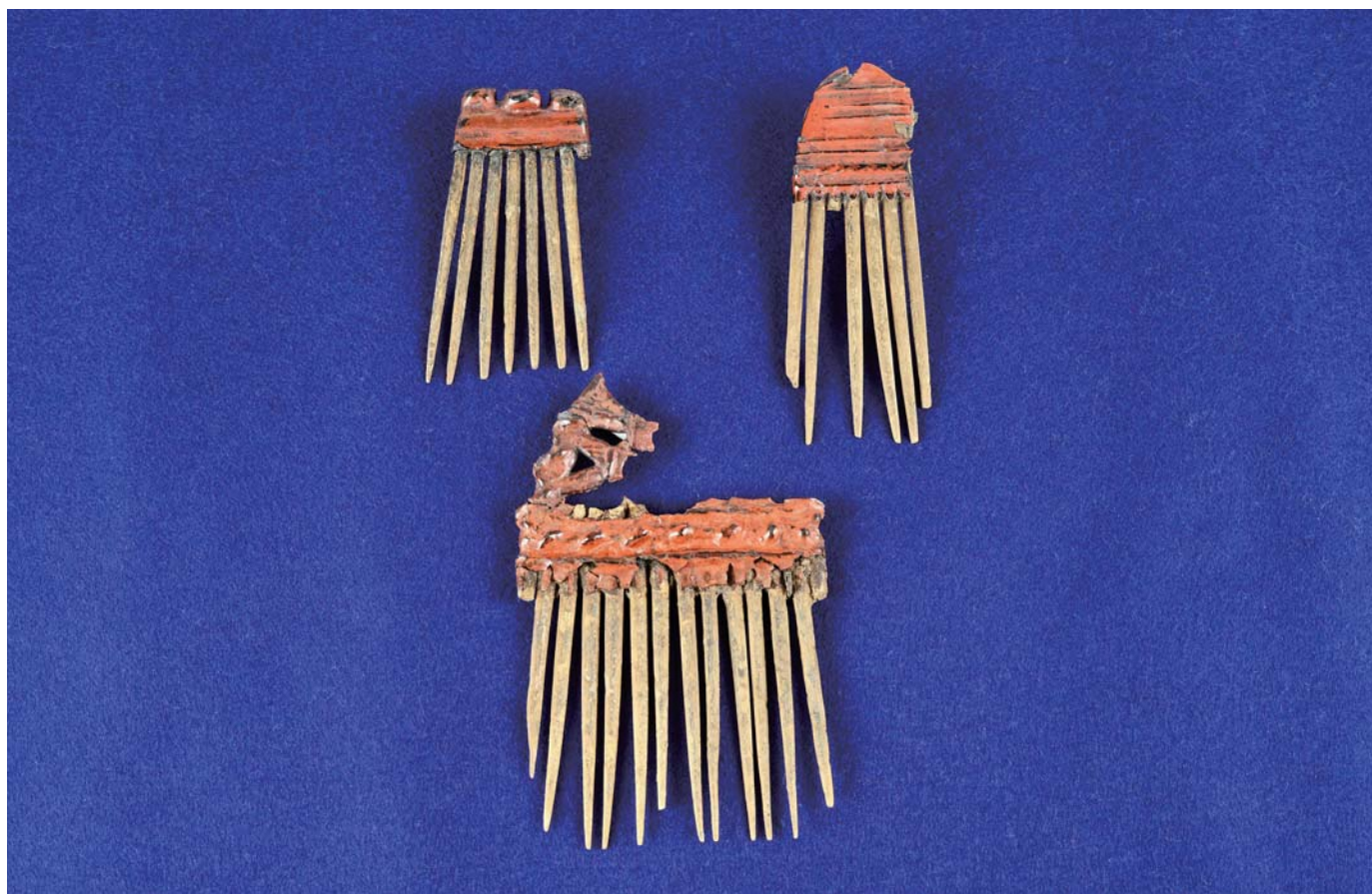
今日でも、我が国の漆工芸は伝統技術として大切に受け継がれています。漆工芸技術は縄文時代の早い時期からあったことが知られています。例えば、東京都東村山市の^{しもやけ べい せき}下宅部遺跡からは、漆掻きをした痕跡が残るウルシの木や漆を貯めた容器など、^{しつこうかんれん}漆工関連の遺物が多く見つかり、それらの出土品は重要文化財に指定されています。漆が塗られた道具は見た目も美しく、縄文人の漆工芸技術の高さや美的感性がとてもよくわかります。木器などと同じよ

うに、遺跡ではなかなか残りませんが、縄文人は漆をたくさん利用していたことがわかっています。漆は装飾効果を持つ優れた塗料として、物の強化や修理にも多用しました。縄文人は漆の特性を最大限に生かし、強さと美しさをあわせ持つ道具を作り、使いました。

後谷遺跡では、漆塗りの「弓」や「容器片」(^{もくたいしつ き}木胎漆器、^{らんたいしつ き}藍胎漆器)、「簪」や「耳飾り」などの^{そうしん ぐ るい}装身具類が見つかりました。中でも赤漆を塗った「櫛」は、櫛歯が残っているととても貴重なものです。歯を連結して赤漆を塗っている部分は、下地に何層もの漆を塗り重ねており、良好な保存状態を保っていました。こうした部分を^{きょうか しょうり}強化処理することで、より安定した状態を確保することができました。



櫛の出土状況（後谷遺跡第4次発掘調査）



385.384.386. 櫛



379. 弓（飾り弓）



377. 弓（飾り弓残欠）



378. 弓（飾り弓残欠）



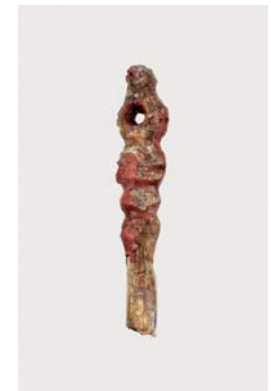
380. 弓（飾り弓残欠）



381. 弓（飾り弓残欠）



387. 櫛



388. 簪（かんざし）



389. 耳飾り



382. 容器（木胎漆器口縁部残欠）



383. 容器（藍胎漆器口縁部残欠）

4 石の道具【石器・石製品】

後谷遺跡からは、石で作った道具も多く見つかりました。土を掘ったり木を切ったり削ったりする「石斧」(打製石斧、磨製石斧)、弓矢の先に着ける「矢じり」(石鏃)、木の実などを割ったりすりつぶしたりする際に使う石器(磨石、敲石、凹石、石皿)などのほか、道具を研ぐ「砥石」や錘に使う「石錘」などがあります。また、装飾品となる「垂飾り」(軽石製品)や「玉」、お祭りの道具と考えられる「石棒」や「独鈷石」など、石の道具の用途は実に多種多様です。

石の道具は破損や劣化が少ないため、修理や強化などの処理をあまり必要としません。しかし、小さいものや数が多いものなど、保存と活用には特に注意が必要なものもあります。そのため、これらの散逸や紛失を防止するための保存台座・保存箱を作製しました。



390～394. 磨製石斧



(上段左から) 395～406. 打製石斧



(上段左から) 407～492. 石鏃



石鏃・石錘を保存箱に収めた状態



(上段左から) 504～511. 磨石・敲石



530. 石皿



532～536. 砥石



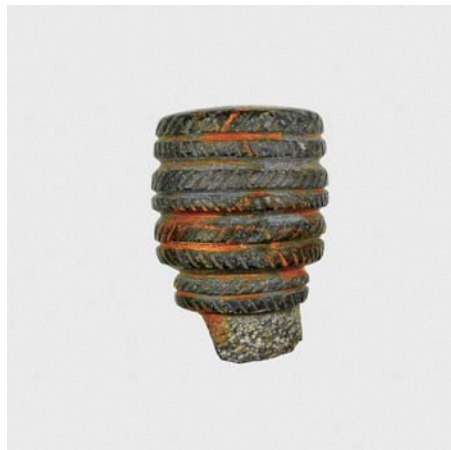
565.566.567.568. 軽石製品



(上段左から) 537～564. 石錘 (最下段左から) 75～92. 土錘



572. 石棒



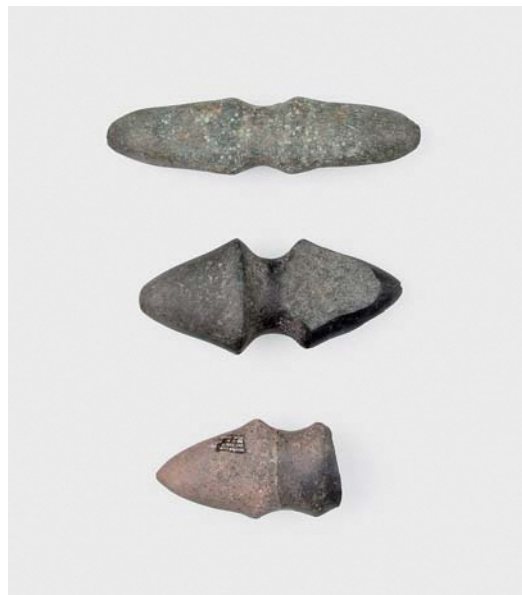
569. 石剣



570. 石剣



571.573～579. 石剣・石棒



580.581.582. 独鈷石



583.584. 岩版



(上段左から) 585～645. 玉

5 後谷遺跡出土品保存修理事業実績

年 度	修理品目	対象点数	保存台座 (箱)
平成 24 年度	漆製品	計 13 点	全点作製
平成 25 年度	土製品 (ミミズク土偶) および木器・木製品 (櫛状木製品など)	計 18 点	全点作製
平成 26 年度	木器・木製品 (弓)	計 22 点	全点作製
平成 27 年度	木器・木製品 (弓、石斧柄)	計 13 点	全点作製
平成 28 年度	土器・土製品 (土器、耳飾)	計 189 点	全点作製
平成 29 年度	土器	計 9 点	全点作製
平成 30 年度	土器・土製品 (土器、土偶など)	計 16 点	10 点分作製
令和 元 年度	土器・土製品 (土器、土偶)	計 15 点	5 点分作製
令和 2 年度	土器・土製品、石器・石製品 (打製石斧、磨石 敲石 凹石以外)	計 304 点	301 点分作製

II 保存修理の現場から ーよりよい保存と活用を目指してー

文化財の保存修理事業は、私たちの歴史的財産である優れた文化財を安全な状態で保存・活用しながら未来へ伝えてゆくために行うものです。後谷遺跡出土品は、重要文化財に指定された平成 23 年当時には発掘調査から 20 年以上が経過しており、破損や劣化が進んでしまったものが多くありました。これらを対象に保存修理を実施しました。

保存修理の手法は様々で、それぞれの出土品の状態に合った修理方法を検討し、行いました。X線撮影などを用いて状態を確認し、解体クリーニングや復元、破損や劣化を防止するための強化処理などを行い、安全な保存活用環境や散逸を防止するための保存台座・保存箱等を作製しました。

土器の修理



壺形土器の解体修理例です。これは修理をする前の状態です。整理作業の段階で欠損部分は石膏で補修し、着色もしているためとてもきれいに见えます。しかし、修理時点では発掘から約 30 年が経過しており、接着部分や石膏復元箇所は劣化が進んでいました。また、全体的にやや傾いた形状となっていました。

解体をして、古い接着剤や石膏を取り除き、全体をクリーニングします。解体する前にはX線写真を撮影し、目に見えないひび割れや劣化がないかも確認します。



解体とクリーニングが済んだら、再び接合を行います。接着にはアクリル系の接着剤を使用し、欠損している部分は、石膏ではなく樹脂で補修します。破片同士の接着面や傾きなどをつぶさに観察して組み上げた結果、器形の傾きも直すことができました。



樹脂で補修した部分に色を塗り、修理完了です。樹脂で補修している場所が分からなくならないように、実物とは微妙に違えた色で着色しています。また、補修した部分の土器の文様も復元しています。



桐材の保存箱を作製し、収納します。中は、それぞれの出土品に合った形の緩衝材が入っています。こうすることで、箱の中で出土品が動いてしまったり、大きな衝撃を受けたりするリスクを減らすことができ、より安全に保管・管理をすることができます。



専用の保存台座は、そのまま展示台としても使え、裏返すと保存箱のふたにもなります。展示や見学に供する際は、箱ごと運びそのまま展示できるので、出土品に直接触れる頻度も減り、より安全に取り扱ができます。また、他の博物館などへの貸し出しも、保存箱に収納した状態で専用展示台ごと貸与できるので、とても便利です。

土偶の強化処理



表面のクリーニング



亀裂箇所を樹脂で補強処理



補強部分の補彩

木器の強化処理



X線撮影をして細かな亀裂などを確認
(写真は櫛状木製品)



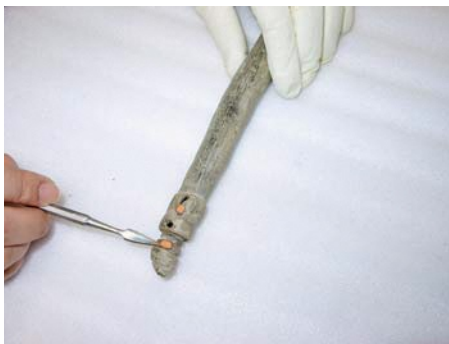
表面のクリーニング
(写真は台状木製品)



パラロイドによる強化処理
(写真は樹皮製品)



折損箇所の接合作業
(写真は櫛状木製品)



亀裂や脆弱箇所への樹脂充填
(写真は弓)



修理箇所の補彩
(写真は櫛状木製品)

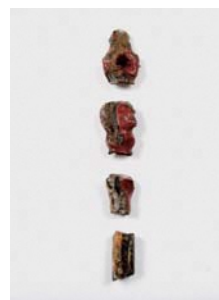
漆製品の接合



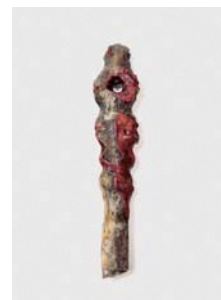
櫛の修理前



櫛の修理後
棟部分と歯部分の一部が接合



簪の修理前



簪の修理後
4破片を接合した

保存台座・保存箱の作製



1. 深鉢形土器保存台座（支柱式）



1. 深鉢形土器保存箱



土器の保存箱



17. 鉢形土器保存台座（形取り式）



17. 鉢形土器保存箱（ふたは台座となる）

土器の保存箱はふたが台座になり、展示台として使えるようにしました。土器底部の状態に合わせ、支柱式と形取り式の二種類を採用しています。



384. 櫛保存箱



326. 弓保存箱



357. 石斧柄保存箱



329.330.333.334. 弓 共用の保存箱



364. 櫛状木製品保存箱

漆製品や木製品は劣化や破損のリスクが高く、取り扱いには特に注意が必要です。専用の保存箱は、ふたを取ると遺物に直接触れることなくそのまま展示ができるように作りました。

後谷遺跡の出土品には、劣化や破損はしづらくても、小型であったり数が多かったりということから紛失などの恐れがあるものも多くあります。そうしたものの散逸防止や適切な保管状態を確保するための方法を検討し、それらをまとめて収納できる保存台座兼保存箱と、箱を一括して収納できる保存棚を作りました。



土偶の保存箱



玉・土玉の保存箱



共用の保存箱（土版、岩版、磨製石斧、石剣、独鈷石）



保存棚



出土品を収めた箱を収納
（実際の収納時はふたをします）

Ⅲ 埼玉県後谷遺跡出土品一覧

土器・土製品 324 点

深鉢形土器 7 点

番号	口径	器高	底径	最大径	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
1	24.60	31.40	(4.30)	25.20	90%	平口縁、口縁部瘤貼付 6 残存、底部一部欠、弧線文、刻目文、縄文、接合固体	H29	解体・修復	○(専用)	
2	27.00	42.40	3.60	28.50	90%	平口縁、口縁部瘤 3 残存、沈線による平行線及び弧線、縄文充填、刺突文、接合固体	H29	解体・修復	○(専用)	
3	33.70	43.50	10.00	33.70	80%	口縁波状 4 単位、沈線文、胴部下半ミガキ、底部網代痕	H29	解体・修復	○(専用)	
4	31.30	49.00	11.00	35.00	80%	口縁突起 4(うち 1 大型)、頸部アーチ状突起貼付、胴部「J」字文、縄文、堀ノ内式	H29	解体・修復	○(専用)	
5	19.50	25.40	2.80	19.50	70%	口縁波状突起 5(うち 3 欠)、瘤貼付、三叉文、縄文、胴部下半磨き	H29	解体・修復	○(専用)	
6	(縦) 12.5	(横) 15.12	(厚) 1.15	—	30%	口縁部片、波状口縁、顔面付(ミミズク)、瘤貼付、三叉文、弧線文、縄文、4 片分割、内外面煤及び炭化物付着	H30	解体・修復		
7	8.79	15.06	2.64	9.76	95%	口縁波状突起 3(うち 1 欠)、小形、瘤貼付、弧線文、縄文	H29	強化・復元	○(専用)	

鉢形土器 14 点

番号	口径	器高	底径	最大径	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
8	24.90	12.35	7.51	24.90	70%	平口縁、口縁部瘤 1 貼付、底部一部欠(意図的穿孔か)、口縁部縄文、平行沈線間縄文充填、補修痕あり(漆か)、接合個体	H29	解体・修復	○(専用)	
9	20.50	12.00	8.15	20.50	70%	平口縁、微隆帯上に縄文及び爪形文、胴部下半斜沈線、接合個体	H30	解体・修復		
10	7.05	5.25	6.17	9.05	90%	4 脚付(うち 4 欠)、平口縁、口縁部下鐫状貼付 1 周、円孔付取手 3(うち 1 欠)、赤彩有	H29	強化	○(専用)	
11	15.11	5.60	(丸底)	15.11	80%	口縁突起 3(うち 1 欠)、底部丸形、口縁部沈線 3 本周回、胴部下半～底部に縄文	R1	解体・修復		
12	14.60	6.40	4.58	15.30	70%	平口縁、内面に沈線及び刺突、内面底部段差有、黒色塗料付着(漆か)	H30	解体・修復		
13	9.40	9.30	6.00	13.16	90%	4 脚付(うち 1 欠)、平口縁、穿孔付瘤 4 貼付、沈線文、網代痕有、赤彩有	R1	解体・修復		
14	28.20	(14.70)	9.00	28.20	70%	台付鉢、口縁突起 6(うち 4 欠)、台部一部欠口縁波底部に 2 個 1 対の小突起、列点帯で文様帯区画	H30	解体・修復		
15	13.46	10.19	6.52	13.46	50%	角底鉢、口縁突起 4(うち 2 欠)、瘤貼付、弧線文後縄文充填、内面赤彩有	R1	解体・修復		
16	23.75	12.50	(4.63)	23.75	60%	口縁波状 6 単位(うち 2.5 欠)、口縁外反、底部欠、入組文、三叉文、弧線文、細密縄文	R1	解体・修復		
17	16.30	(13.30)	—	24.60	90%	口縁突起 1、底部欠、瘤貼付、三叉文、弧線文、縄文、内外面煤及び炭化物付着	R1	強化	○(専用)	
18	10.35	6.80	5.50	10.35	80%	台形鉢、口縁・底部共に四角形、口縁突起 8(うち 4 欠)、「X」字状の線刻あり、指紋残存	R2	解体・修復		
19	15.03	7.73	6.70	15.03	100%	平口縁、沈線文、隆帯上に爪形文	R1	強化		
20	23.20	19.40	—	29.50	90%	口縁小突起 5、底部欠、瘤貼付、隆帯上に爪形文、胴部下半斜沈線、一部飛沫状に付着物有(漆か)	H30・R2	強化	○(専用)	
21	18.50	7.70	7.30	14.20	95%	口縁突起 2 か(1 欠)、口縁一部欠、破損部磨耗、胴部瘤 34 貼付列(うち 2 欠)、弧線文、縄文、内外面煤及び炭化物付着、接合個体	R1	解体・修復		

浅鉢形土器 5 点

番号	口径	器高	底径	最大径	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
22	16.80	5.21	9.01	16.80	95%	口縁突起 4(うち 1 欠)、口唇部沈線、胴部一部剥落、胴部無文	H30	解体・修復		
23	22.10	9.93	(丸底)	23.80	70%	口縁波状 1 単位、口縁突起 4、底部丸形、三叉文、弧線文、縄文	H28	解体・修復	○(専用)	
24	20.06	7.01	8.04	20.06	80%	口縁突起 7 残存、補修孔 1、弧線文、縄文	H28	解体・修復	○(専用)	
25	(19.30)	7.40	7.20	(19.30)	50%	口縁突起 8 残存、口縁一部欠、口縁部穿孔 1、入組三叉文、縄文、赤彩有り	R1	解体・修復		
26	(22.10)	(9.70)	丸底	(22.10)	50%	平口縁、口唇部凹文周回、弧線文	R1	解体・修復		

壺形土器 1 点

番号	口径	器高	底径	最大径	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
27	12.77	25.60	8.80	26.30	80%	平口縁、胴部一部欠、入組三叉文、縄文、胴部瘤状突起貼付、底部縁磨耗	R1	解体・修復	○(専用)	

注口土器 3 点

番号	口径	器高	底径	最大径	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
28	6.34	7.51	3.62	7.11	95%	小形、注口欠、口縁一部欠、胴部沈線間に縄文、底部網代痕	R1	強化・復元	○(共用)	
29	6.52	7.63	5.80	14.03	90%	注口欠、底部穿孔、雲形文、縄文	R1	強化・復元	○(共用)	
30	6.15	13.38	(4.21)	13.50	95%	注口欠、口縁一部欠、胴部瘤状貼付、胴部穿孔 2、底部摩滅	R1	強化・復元	○(共用)	

異形土器 5 点

番号	口径	器高	底径	最大径	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
31	—	15.40	—	—	40%	口縁突起 1 残存(合計 4 か)、注口状突起 2(うち 1 欠)、菱形穿孔、沈線文、縄文、接合個体、破片別置き(1 袋)	H29	解体・修復	○(専用)	

番号	口径	器高	底径	最大径	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
32	－	(6.05)	－	10.85	40%	口縁部及び台部欠、注口状突起 2、三角形穿孔、縄文、赤彩有	H28	解体・修復	○(専用)	
33	－	(11.93)	－	13.19	50%	口縁部及び台部欠、注口状突起 2、三角形穿孔、沈線部及び無文部赤漆塗り、縄文部黒漆塗り	H30	強化	○(専用)	
34	3.00	6.80	16.00	16.00	95%	双口を持つ三角形状土器、各口縁部一部欠、中空、端部摩減痕、無文	R2	強化		
35	6.58	(9.23)	－	9.55	50%	小形、台部欠、注口状突起 4、隆帯貼付	R2	強化・復元		

小形土器 18点

番号	口径	器高	底径	最大径	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
36	5.10	3.47	(丸底)	5.10	100%	口縁突起 8(2 個 1 対)、口唇部小刺突、胴部小刺突、鉢形、内面赤彩有り	R2			○
37	5.23	2.59	3.01	5.23	100%	手捏ね、楕円形、口縁部片口状、浅鉢形	R2			○
38	－	(5.03)	3.46	7.15	70%	口縁部欠、壺形か	R2			○
39	7.21	3.80	5.19	7.21	95%	口縁突起 5(うち 1 欠)、口縁一部欠、底部一部欠、鉢形	R2			○
40	－	3.95	－	－	30%	破片、口縁部外反、沈線間に横位磨き、鉢形	R2			○
41	6.69	4.75	3.90	－	90%	口縁片口状突起 1(欠)、内外面磨き、鉢形	R2			○
42	6.21	4.17	2.75	－	70%	口縁片口状突起 1(小欠)、口縁一部欠、内外面磨き、鉢形	R2			○
43	3.87	3.19	(丸底)	4.14	100%	手捏ね、鉢形	R2			○
44	4.23	4.26	2.54	4.23	100%	手捏ね、刻線有り、鉢形	R2			○
45	6.05	5.46	2.47	6.34	80%	手捏ね、口縁半欠、鉢形	R2			○
46	6.17	5.58	2.98	6.17	100%	手捏ね、鉢形	R2			○
47	4.85	5.70	3.19	4.85	90%	手捏ね、口縁外反、鉢形	R2			○
48	4.60	4.41	1.90	4.60	100%	手捏ね、口縁突起 1、鉢形	R2			○
49	9.50	3.81	5.82	9.61	100%	手捏ね、内面磨き、内面赤彩有、浅鉢形	R2			○
50	3.72	5.08	2.03	5.08	95%	手捏ね、口縁部突起 4(うち 1 欠)、穿孔 2、注口土器	R2			○
51	(2.50)	4.58	2.86	6.45	95%	口縁部欠、胴部内傾屈曲、屈曲部突起 2	R2			○
52	1.80	2.81	1.74	3.27	100%	手捏ね、口縁突起 4、穿孔 2	R2			○
53	4.63	(5.71)	2.96	5.38	90%	口縁突起 3、透かし穿孔あり(円孔 3、菱形穿孔 3)、台部欠か	R2			○

漆・顔料付着土器残欠 21点

番号	縦	横	厚	最大径	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
54	4.57	5.73	0.67	－	－％	口縁部片、沈線部及び無文部赤漆塗り、縄文部黒漆塗り、注口土器か、他 1 片有り(接合面なし)、整理番号 55 と同一個体か	R2			○
55	7.50	12.80	0.86	－	－％	胴部片、沈線部及び無文部赤漆塗り、縄文部黒漆塗り、注口土器か、整理番号 54 と同一個体か	R2			○
56	9.70	15.20	0.69	－	－％	胴部片、内外面漆付着、漆容器、瓢形	H30	解体・修復	○(共用)	
57	5.46	7.20	0.78	－	－％	口縁部片、無文部及び沈線部に赤彩、縄文部無塗彩、異形土器か	R2			○
58	高 (5.16)	底径 11.8	1.09	－	－％	底部片、内面及び底部赤彩顔料付着、網代痕	R2			○
59	8.56	9.00	0.86	－	－％	底部片、内外面及び破断面漆付着、漆容器か	R2			○
60	高 (3.93)	底径 8.54	0.78	－	－％	底部片、内面漆付着、網代痕、漆貯蔵容器か	H30	強化	○(共用)	
61	5.95	5.49	0.63	－	－％	口縁部片、口縁突起 1 残存、菱形穿孔 1、内外面赤彩、台付土器か	R2			○
62	5.54	6.67	0.48	－	－％	口縁部片、波状部残欠、赤彩、注口土器か	R2			○
63	5.27	7.48	0.71	－	－％	口縁部片、口唇瘤貼付 1 残存、内外面赤漆塗り、内面漆(生漆か)、台付土器か、2 片未接合	R2			○
64	4.79	5.93	0.74	－	－％	口縁部片、口縁突起 1 残存、外面赤漆塗り、内面漆(生漆か)、台付土器か	R2			○
65	9.08	3.87	0.89	－	－％	壺口縁部片、口縁突起 2 残存、内外面赤漆塗り、2 片未接合	R2			○
66	5.15	－	0.90	11.79	－％	壺頸部片、内外面赤漆塗り、内面黒漆塗り、破断面に漆付着、補修痕か	H30	解体・修復	○(共用)	
67	5.45	7.00	0.98	－	－％	鉢口縁部片、破断面に漆付着、漆補修痕の可能性あり	R2			○
68	5.40	8.29	0.73	－	－％	深鉢口縁部片、破断面に繊維を含む漆付着、漆補修痕の可能性あり	R2			○
69	7.07	6.98	0.81	－	－％	深鉢口縁部片、破断面に繊維を含む漆付着、漆補修痕の可能性あり	R2			○
70	6.10	6.00	0.87	－	－％	鉢胴部片、内面黒漆付着、パレット等として利用か	R2			○
71	5.00	－	0.90	10.46	－％	底部片、網代痕、内面漆厚く付着、漆貯蔵容器	H30	強化	○(共用)	
72	4.30	9.64	0.64	－	－％	注口土器片、注口部欠、注口破損部を貝殻で覆い漆を塗布して塞ぐという補修を施す	H30	強化	○(共用)	
73	5.56	2.58	0.51	－	－％	注口土器注口部片、全面赤彩(漆か)、指紋付着か	R2			○
74	6.00	7.00	0.51	－	－％	中空土偶肩部片、破断面を漆によって接着補修	H30	強化	○(共用)	

土錘 18点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
75	3.91	1.99	1.86	14.90	100%	縦横有溝	R2			○

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
76	3.21	2.45	2.47	22.50	100%	中心部縦孔有り	R2			○
77	4.32	2.32	1.96	22.60	100%	縦横有溝	R2			○
78	4.55	2.88	1.89	20.00	80%	縦横有溝、一部欠	R2			○
79	3.40	2.95	2.06	15.40	95%	縦有溝、一部欠	R2			○
80	4.12	2.25	1.86	21.00	95%	縦有溝、一部欠	R2			○
81	3.96	2.57	2.90	29.10	100%	縦有溝	R2			○
82	4.92	2.78	1.62	23.00	100%	縦有溝	R2			○
83	4.46	2.96	2.33	31.40	100%	縦有溝	R2			○
84	5.25	3.10	3.06	54.30	100%	縦横有溝	R2			○
85	3.78	2.38	1.52	13.50	80%	縦横有溝、片面摩減	R2			○
86	4.18	2.55	1.53	19.10	100%	縦横有溝、中心部縦孔有り	R2			○
87	2.74	2.40	2.17	15.30	100%	横有溝	R2			○
88	2.34	1.92	1.86	8.00	100%	中心部縦孔有り	R2			○
89	3.08	2.15	2.04	14.50	100%	中心部縦孔有り	R2			○
90	2.75	2.67	2.39	19.60	95%	中心部縦孔有り、一部摩減	R2			○
91	2.23	1.85	1.83	8.30	100%	中心部縦孔有り	R2			○
92	3.11	1.71	1.76	10.30	100%	溝無し	R2			○

土偶 25点

番号	高・長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
93	(4.83)	(7.11)	2.36	－	30%	山形土偶、頭部片、沈線、刺突、裏面貼付	R2			○
94	(4.96)	6.20	3.20	－	30%	山形土偶、頭部片、一部欠、両耳に穿孔	R2			○
95	(5.29)	4.49	1.95	－	30%	山形土偶、頭部片、赤彩有り	R2			○
96	(5.06)	6.76	3.58	－	30%	山形土偶、頭部片、一部欠、両耳に穿孔	R2			○
97	(2.93)	(5.19)	2.55	－	30%	山形土偶、頭部片、一部欠	R2			○
98	(8.19)	(6.77)	4.46	－	40%	ミミズク土偶、胴部片、隆帯貼付、縄文、沈線文	R2			○
99	(8.53)	(8.92)	3.29	－	70%	ミミズク土偶、頭部～胴部片、入組三叉文、縄文	R2			○
100	(10.43)	(5.35)	2.61	－	40%	ミミズク土偶、胴部片、入組文、三叉文、縄文、赤彩有り	R2			○
101	(6.53)	(4.49)	3.03	－	60%	ミミズク土偶、頭部～胴部片、頭部一部欠、両腕欠、細い斜線文	R2			○
102	(12.14)	7.82	2.51	－	40%	山形土偶、頭部～右腕片、頭部一部欠、刺突文、両耳に穿孔、赤彩有り	R2			○
103	(4.64)	6.29	2.97	－	30%	山形土偶、頭部片、沈線文、顔面表現希薄	R2			○
104	(8.11)	6.53	2.33	－	50%	山形土偶、頭部～左腕片、沈線文	R2			○
105	(8.32)	(6.31)	2.17	－	40%	山形土偶、頭部～左胸片、沈線による円文	R2			○
106	(4.17)	(6.88)	2.64	－	30%	ミミズク土偶、頭部片、一部欠	R2			○
107	(7.14)	7.47	1.86	－	40%	ミミズク土偶、頭部～胴部上半片、一部欠、赤彩有り	R2			○
108	(15.11)	(9.67)	2.58	－	80%	ミミズク土偶、頭部一部欠、両手及び右足欠、渦巻文、腹部円形貼付、2 片接合	R1・R2	解体・修復		○
109	16.00	8.60	3.38	－	98%	ミミズク土偶、頭頂部及び右手及び右足一部欠、両耳に木質有り(一部別置き)、全面赤漆塗り、PG 処理	H25	強化	○(専用)	
110	(11.26)	(7.84)	3.74	－	60%	ミミズク土偶、頭部～胴部片、頭部一部欠、右腕欠、入組文、縄文、赤彩有り	R2			○
111	(7.89)	9.70	2.57	－	60%	ミミズク土偶、頭部一部欠、胴部下半以下欠、両耳に穿孔、赤彩有り	R2			○
112	(6.23)	(7.57)	3.48	－	30%	ミミズク土偶、頭部片、一部欠、縄文、赤彩有り	R2			○
113	(6.16)	(10.16)	4.11	－	40%	ミミズク土偶、胴部片、隆帯刻み、縄文、赤彩有り	R2			○
114	(10.14)	(11.69)	3.72	－	50%	ミミズク土偶、胴部片、隆帯刻み、縄文、赤彩有り、2 片接合	R1・R2	解体・修復		○
115	(12.10)	(15.60)	(11.40)	－	30%	中空ミミズク土偶、大型頭部片、顔面一部剥離、頭頂部貼付による突起 5(うち 4 欠)、赤彩有り	H30	強化	○(専用)	
116	(16.51)	19.60	6.40	－	60%	遮光器系土偶、下半身欠、顔面一部剥離、耳部剥離、耳部穿孔痕有り、口穿孔、頭部穿孔 4、首部に垂飾形の貼付、乳房表現有り、赤彩有り	R2			○
117	(19.00)	(18.80)	13.40	－	30%	中空ミミズク土偶、頭部及び右腕残存、耳部欠、頭頂部貼付による突起 5(うち 2 欠)、頭頂部穿孔 5、全形復原				

猪形土製品残欠 3点

番号	長	幅	高	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
118	(6.70)	3.50	(3.20)	－	60%	胴部片、脚部 4 欠、背部貼付剥落、尻部刺突有り	R2			○
119	(6.40)	3.10	4.00	－	70%	頭部～胴部上半片、脚部欠、鼻部突出、鼻部刺突有り、耳貼付、背部鶏冠状貼付有り	R2			○
120	(6.70)	5.60	4.40	－	30%	頭部片、一部欠、目部押捺、鼻部突出、鼻部刺突有り	R2			○

土面残欠 2点

番号	高・長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
121	10.50	10.40	2.30	－	80%	一部欠、目穿孔、口穿孔、2 片接合	H30	解体・修復	○(共用)	

番号	高・長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
122	(6.40)	(6.40)	2.10	－	60%	周縁欠、右頬に穿孔痕有り	H30	強化	○(共用)	

土版 9点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
123	4.40	3.30	1.23	－	100%	顔面表現有り、小形、体部無文	R2			○
124	(2.95)	(4.72)	1.60	－	30%	顔面表現有り、下半部欠、沈線	R2			○
125	(4.91)	(7.04)	2.51	－	30%	顔面表現有り、下半部欠、裏面渦巻文	R2			○
126	(9.84)	(11.92)	3.14	－	50%	顔面表現有り、眉部表現剥離、周縁一部欠、体部無文、赤彩有り	R2			○
127	(13.05)	7.86	3.30	－	70%	顔面表現有り、下端部欠、頭部周円一部欠、線刻、赤彩有り、2片接合	R2			○
128	(10.05)	8.28	1.25	－	90%	顔面表現有り、周縁一部欠、線刻、小穿孔2	R2			○
129	(7.00)	4.60	1.40	－	80%	周縁一部欠、両端突出する楕円形(うち1欠)、入組三叉文	R2			○
130	9.80	6.49	1.70	－	95%	周縁一部欠、弧線文、円形文、円形刺突	R2			○
131	8.86	5.49	1.47	－	100%	弧線文、菱形文	R2			○

耳飾 186点

番号	最大径	最小径	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
132	4.37	4.11	2.04	39.40	95%	滑車形、中央突起、周縁突起5(うち4欠)	H28		○(共用)	
133	－	1.67	(0.96)	(2.00)	70%	滑車形、周縁欠、赤彩有り	H28	強化	○(共用)	
134	2.58	2.34	1.30	10.60	98%	滑車形、周縁一部欠、中央円孔1	H28		○(共用)	
135	1.64	1.43	1.24	3.80	98%	滑車形、周縁小欠、中央円孔1、周縁刻み文	H28		○(共用)	
136	3.92	1.78	(4.57)	(32.30)	70%	栓形(大形)、片端部欠、表面渦巻文	H28		○(共用)	
137	1.79	0.78	1.82	2.70	98%	栓形、花弁状突起4(うち1小欠)、沈線文、中央刺突	H28		○(共用)	
138	2.66	2.35	1.66	8.90	100%	滑車形、穿孔3、三叉文	H28		○(共用)	
139	1.75	1.10	1.19	2.70	98%	滑車形、周縁小欠、上下面凹み、無文、赤彩有、	H28		○(共用)	
140	1.88	1.63	1.32	4.50	90%	滑車形、周縁一部欠、上下面凹み、無文	H28		○(共用)	
141	2.12	1.85	2.01	(8.20)	80%	滑車形、一部欠、無文	H28		○(共用)	
142	2.47	2.29	1.55	(8.90)	80%	滑車形、一部欠、無文	H28		○(共用)	
143	2.24	2.30	1.97	13.90	100%	滑車形、無文	H28		○(共用)	
144	2.96	2.76	2.63	24.50	100%	滑車形、無文	H28		○(共用)	
145	2.46	2.29	1.91	7.90	98%	環形、周縁小欠、無文	H28		○(共用)	
146	2.65	2.51	1.62	10.00	98%	環形、周縁小欠、無文	H28		○(共用)	
147	3.77	3.65	1.50	15.00	98%	滑車形、周縁小欠、無文	H28		○(共用)	
148	7.86	7.55	2.30	(63.90)	80%	滑車形、周縁一部欠、中央大円孔、環内側「レ」状張出、3片接合	H28	解体・修復	○(共用)	
149	3.93	3.75	2.27	(23.70)	80%	滑車形、周縁一部欠、中央円孔、周縁突起4残存、刻目周回、2片接合	H28	解体・修復	○(共用)	
150	3.00	2.88	1.85	(11.20)	70%	滑車形、周縁一部欠、中央円孔、沈線文、刻目文、3片接合	H28	解体・修復	○(共用)	
151	3.11	2.98	1.93	14.30	98%	環形、周縁小欠、沈線及び刻目周回	H28		○(共用)	
152	4.85	4.66	1.95	27.50	98%	滑車形、周縁小欠、中央大円孔、一箇所隆帯文	H28		○(共用)	
153	3.84	3.70	1.51	15.60	100%	滑車形、中央円孔、一箇所沈線文	H28		○(共用)	
154	2.73	2.21	1.70	6.70	90%	滑車形、周縁一部欠、周縁突起2、中央楕円穿孔、沈線文、刻目文、2片接合	H28	解体・修復	○(共用)	
155	3.96	3.47	2.06	22.80	100%	滑車形、中央円孔、円形貼付1、沈線周回、2片接合	H28	解体・修復	○(共用)	
156	4.69	4.38	2.01	(19.70)	80%	滑車形、周縁一部欠、中央橋状装飾(欠)、穿孔2、沈線、刻目、赤彩有、6片接合	H28	解体・修復	○(共用)	
157	5.43	5.30	1.72	26.80	90%	滑車形、周縁一部欠、中央大円孔、四箇所沈線文(弧線文)うち二箇所刻目列	H28		○(共用)	
158	6.80	6.60	2.04	(27.20)	50%	滑車形、半欠、中央大円孔、長円形文、刻目周回	H28	強化・復元	○(共用)	
159	7.66	7.41	1.82	70.40	98%	滑車形、周縁小欠、中央突起1、沈線文(長円形文、C字文ほか)、小刺突周回	H28		○(共用)	
160	2.74	2.55	1.85	11.90	100%	滑車形、穿孔3、沈線文(三叉文)	H28		○(共用)	
161	－	1.77	1.24	(2.50)	60%	滑車形、周縁欠、立体装飾、赤彩有	H28		○(共用)	
162	5.80	5.42	2.46	48.20	90%	滑車形、周縁一部欠、周縁突起4、中央橋状装飾、穿孔2、沈線文	H28		○(共用)	
163	5.74	5.34	2.58	(59.90)	80%	滑車形、中央部突起5、周縁突起10(うち6欠)、各突起上に刻目	H28		○(共用)	
164	0.89	0.54	0.96	0.60	100%	滑車形、上下面凹み、無文、赤彩有	H28		○(共用)	
165	1.24	1.00	0.82	1.30	98%	滑車形、上下面凹み、無文、黒漆塗り	H28		○(共用)	
166	1.30	1.12	1.02	1.80	100%	滑車形、上下面凹み、無文、赤彩有	H28		○(共用)	
167	1.20	0.85	0.94	1.40	100%	滑車形、上下面凹み、刻目	H28		○(共用)	
168	1.58	1.10	1.18	2.30	98%	滑車形、周縁小欠、上下面凹み、中央小円孔1、無文、赤漆塗り	H28		○(共用)	
169	1.85	1.16	1.49	5.40	98%	滑車形、周縁小欠、上下面凹み、無文	H28		○(共用)	
170	1.73	1.67	1.50	6.30	100%	滑車形、上下面凹み、無文	H28		○(共用)	
171	2.64	2.12	1.92	13.10	98%	滑車形、周縁小欠、上下面凹み、無文	H28		○(共用)	

番号	最大径	最小径	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
172	2.15	1.98	1.84	10.90	100%	滑車形、上下面凹み、無文、黒漆塗り	H28		○(共用)	
173	2.50	2.43	1.76	13.30	98%	滑車形、周縁小欠、上下面凹み、無文	H28		○(共用)	
174	2.23	1.68	2.10	9.20	90%	滑車形、周縁一部欠、上面凹み、無文、成形粗雑、歪み	H28		○(共用)	
175	1.90	1.73	2.02	9.10	100%	俵形、上下面凹み、無文	H28		○(共用)	
176	3.91	3.75	2.01	41.70	100%	滑車形、下面凹み、無文	H28		○(共用)	
177	2.54	2.40	1.30	10.60	98%	滑車形、周縁小欠、無文、赤漆塗り	H28		○(共用)	
178	1.70	1.60	1.36	3.70	100%	滑車形、中央円孔1、黒漆塗り	H28		○(共用)	
179	2.46	－	1.51	(2.90)	50%	環形、半欠、黒漆塗り	H28	強化	○(共用)	
180	1.85	1.80	1.53	4.20	100%	滑車形、中央円孔1	H28		○(共用)	
181	1.85	1.69	1.13	3.40	100%	滑車形、中央円孔1	H28		○(共用)	
182	2.88	2.72	1.93	9.90	100%	滑車形、中央大円孔1	H28		○(共用)	
183	6.00	5.70	2.22	(15.70)	55%	環形、残欠、黒漆塗り、3片未接合	H28	強化・復元	○(共用)	
184	－	3.17	2.18	(18.20)	70%	滑車形、周縁一部欠、中央円孔1	H28	強化・復元	○(共用)	
185	4.39	3.96	1.84	19.90	100%	滑車形、中央大円孔1	H28		○(共用)	
186	3.60	3.05	1.97	17.70	98%	滑車形、周縁小欠、中央円孔1	H28		○(共用)	
187	4.16	3.99	1.54	21.70	100%	滑車形、中央円孔1	H28		○(共用)	
188	5.74	5.06	2.34	(24.20)	80%	滑車形、周縁一部欠、中央大円孔1、5片接合	H28	解体・修復	○(共用)	
189	4.45	4.45	1.73	19.60	98%	滑車形、周縁小欠、中央大円孔1	H28		○(共用)	
190	7.50	7.10	1.95	(31.70)	50%	滑車形、半欠、中央大円孔1、3片接合	H28	解体・修復	○(共用)	
191	4.26	4.00	2.19	25.00	90%	滑車形、周縁一部欠、中央円孔1	H28	強化・復元	○(共用)	
192	4.90	4.70	1.95	(19.40)	50%	滑車形、半欠、中央円孔1	H28	強化・復元	○(共用)	
193	3.20	2.70	1.48	(7.10)	50%	滑車形、半欠、中央円孔1	H28	強化・復元	○(共用)	
194	2.91	2.64	1.57	11.30	100%	滑車形、中央円孔1、周縁一部刻目	H28		○(共用)	
195	2.48	2.05	1.23	7.20	90%	滑車形、周縁一部欠、中央円孔1、周縁一部刻目	H28		○(共用)	
196	4.36	4.17	2.01	25.40	100%	滑車形、中央大円孔1、上下面各一箇所沈線文	H28		○(共用)	
197	4.24	3.97	2.09	25.70	100%	滑車形、中央大円孔1、内環側へ突起1、沈線周回	H28		○(共用)	
198	4.20	4.00	1.75	(10.80)	50%	滑車形、半欠、中央大円孔1、沈線文(弧線文)、黒漆塗り	H28	強化・復元	○(共用)	
199	6.63	6.44	1.98	(23.70)	50%	滑車形、半欠、中央大円孔1、一箇所沈線文(菱形文)、3片接合	H28	解体・修復	○(共用)	
200	2.93	2.93	1.56	12.70	100%	滑車形、中央円孔1、周縁刻目周回、赤漆塗り	H28		○(共用)	
201	7.00	6.60	1.97	(31.70)	50%	滑車形、半欠、中央大円孔1、一箇所沈線文、黒漆塗るか、2片接合	H28	解体・修復	○(共用)	
202	6.44	6.18	2.21	49.80	90%	滑車形、周縁一部欠、中央大円孔1、一箇所隆帯＋細刺突、黒漆塗り、4片接合	H28	解体・修復	○(共用)	
203	6.91	6.65	1.99	(45.10)	80%	滑車形、周縁一部欠、中央大円孔1、剥落多い、隆帯＋沈線＋細刺突、小片多数接合	H28	解体・修復	○(共用)	
204	7.11	6.83	1.98	47.40	95%	滑車形、周縁小欠、中央大円孔1、隆帯文、沈線文、小刺突、3片接合	H28	解体・修復	○(共用)	
205	5.73	5.44	1.70	38.90	90%	滑車形、周縁一部欠、中央円孔1、突起4(うち4欠)、刻目周回	H28		○(共用)	
206	2.16	1.94	1.54	9.80	95%	滑車形、突起5(うち5欠)	H28		○(共用)	
207	2.66	2.28	1.79	(13.10)	80%	滑車形、周縁一部欠、中央円孔1、突起3(うち1欠)、突起上刻目	H28		○(共用)	
208	4.90	4.70	2.41	(24.50)	50%	滑車形、半欠、中央円孔1、突起6残存、表面刻目、側面刻線文(菱形文)	H28	強化・復元	○(共用)	
209	4.85	4.60	2.10	(20.20)	50%	滑車形、半欠、中央円孔有り、突起3残存、刻目文、2片接合	H28	解体・修復	○(共用)	
210	8.28	7.64	2.64	87.50	90%	滑車形、中央円孔1、楕円形穿孔4、突起8(うち2欠)、沈線文、微隆帯文、刻目周回、3片接合	H28	解体・修復	○(共用)	
211	7.29	6.98	1.95	71.20	90%	滑車形、中央円孔1、隆帯文、隆帯上刻目、4片接合	H28	解体・修復	○(共用)	
212	7.70	5.30	1.75	(39.60)	50%	滑車形、半欠、中央円孔1、隆帯＋沈線＋刺突文、環内面沈線＋刺突周回	H28	強化・復元	○(共用)	
213	6.54	4.50	2.03	(57.10)	70%	滑車形、周縁部欠、中央円孔1、沈線文(弧線文)	H28	強化・復元	○(共用)	
214	(4.70)	2.76	(1.47)	(18.10)	70%	滑車形、周縁部欠、中央円孔1、沈線文	H28	強化・復元	○(共用)	
215	(2.91)	1.87	1.33	(8.40)	80%	滑車形、周縁部欠、中央四角形穿孔1、沈線文	H28	強化	○(共用)	
216	(5.00)	3.73	(1.69)	(27.00)	60%	滑車形、周縁部欠、中央円孔1、無文	H28	強化	○(共用)	
217	5.50	3.32	2.16	(27.60)	70%	滑車形、周縁一部欠、中央円孔1、無文	H28	強化・復元	○(共用)	
218	1.68	1.20	1.16	3.20	95%	滑車形、周縁部摩減痕、中央円孔1、細刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
219	(4.70)	(4.50)	1.42	(4.90)	50%	滑車形、半欠、中央円孔1、細刻目、沈線、赤彩有り	H28		○(共用)	
220	5.50	5.30	2.81	46.40	100%	滑車形、円孔3、沈線文(三叉文)、刺突列周回	H28		○(共用)	
221	－	－	3.06	(53.20)	45%	滑車形、周縁部片、無文	H28	強化・復元	○(共用)	
222	4.78	2.62	2.38	(33.30)	80%	滑車形、周縁一部欠、上面側フランジ大、無文	H28	強化・復元	○(共用)	
223	(4.90)	3.51	2.61	(36.30)	60%	滑車形、周縁部欠、中央刺突1、沈線文、赤彩有り	H28		○(共用)	
224	1.80	1.50	1.76	(4.40)	50%	滑車形、半欠、沈線文、赤彩有り	H28	強化	○(共用)	
225	－	－	2.52	(30.50)	50%	滑車形、半欠、沈線文(弧線文)、赤彩有り	H28	強化	○(共用)	
226	5.38	5.14	1.60	39.10	98%	滑車形、周縁小欠、上下両面に沈線文	H28		○(共用)	

番号	最大径	最小径	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
227	2.23	2.08	1.65	6.80	100%	滑車形、中央尖状突起 1、沈線文	H28		○(共用)	
228	2.02	1.92	1.39	6.00	95%	滑車形、周縁小欠、沈線文(入組文)	H28		○(共用)	
229	1.98	1.80	1.19	5.10	100%	滑車形、削り + 沈線 + 細刺突 + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
230	2.45	2.31	1.66	11.50	100%	滑車形、削り + 細刺突、赤彩有り	H28		○(共用)	
231	1.85	1.70	1.65	5.80	100%	滑車形、中央円孔 1、削り、赤彩有り	H28		○(共用)	
232	2.01	1.91	1.57	7.10	100%	滑車形、中央円孔 1、削り + 円形刺突、赤彩有り	H28		○(共用)	
233	2.32	2.15	1.89	8.70	100%	滑車形、中央円孔 1、削り(三叉文) + 円形刺突、漆塗り、赤彩有り	H28		○(共用)	
234	2.18	2.13	1.30	6.40	100%	滑車形、中央円孔 1、沈線(弧線文) + 細刺突、漆塗り	H28		○(共用)	
235	2.50	2.50	1.69	6.30	80%	滑車形、周縁一部欠、中央円孔 1、削出隆帯文	H28		○(共用)	
236	2.53	2.20	1.75	10.10	100%	滑車形、穿孔 2、橋状装飾有り、沈線文	H28		○(共用)	
237	2.10	1.94	1.32	3.90	98%	滑車形、周縁小欠、穿孔 2、橋状装飾有り、沈線文(渦巻文) + 細刺突	H28		○(共用)	
238	2.28	2.17	1.62	6.70	98%	滑車形、周縁小欠、穿孔 2、橋状装飾有り、沈線文、赤彩有り	H28		○(共用)	
239	3.17	2.90	1.58	9.40	98%	滑車形、周縁小欠、穿孔 2、橋状装飾有り、沈線文、赤彩有り、漆塗り	H28		○(共用)	
240	1.41	1.38	1.10	2.20	100%	滑車形、穿孔 3	H28		○(共用)	
241	1.65	1.56	1.42	3.60	100%	滑車形、穿孔 3(うち 2 箇所は貫通しない)	H28		○(共用)	
242	1.82	1.72	1.31	3.90	98%	滑車形、周縁小欠、穿孔 3、沈線文、漆塗り、赤彩有り	H28		○(共用)	
243	2.25	2.07	1.67	5.30	98%	滑車形、周縁小欠、穿孔 3、沈線文、刻目	H28		○(共用)	
244	2.29	2.09	1.70	6.30	98%	滑車形、周縁小欠、突起 3、穿孔 3、沈線文、細刺突、漆塗り	H28		○(共用)	
245	(3.00)	－	1.76	(8.40)	60%	滑車形、周縁一部欠、穿孔 4(うち 3 は貫通しない)、沈線文(入組文)、赤彩有り	H28	強化・復元	○(共用)	
246	2.26	1.55	1.86	6.40	100%	滑車形、上面部が楕円形状、立体装飾を持つ、穿孔 2、突起 2、刻目、歪み	H28		○(共用)	
247	1.20	1.06	1.17	1.60	100%	滑車形、立体装飾を持つ、中央楕円状抉り、刺突文、刻目	H28		○(共用)	
248	1.19	1.17	1.32	2.30	100%	滑車形、立体装飾を持つ、中央楕円穿孔 1、刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
249	1.85	1.39	1.24	2.60	100%	滑車形、立体装飾を持つ、中央楕円穿孔 1、削り + 刺突 + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
250	1.74	1.48	1.07	3.00	100%	滑車形、立体装飾を持つ、中央楕円穿孔 1、抉り + 沈線 + 刺突 + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
251	1.82	1.42	1.33	2.50	100%	滑車形、立体装飾を持つ、中央楕円穿孔 1、抉り + 沈線 + 刺突 + 刻目	H28		○(共用)	
252	2.15	1.52	1.40	3.30	100%	滑車形、立体装飾を持つ、中央楕円穿孔 1、抉り + 沈線 + 刺突 + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
253	2.53	2.10	1.57	7.50	98%	滑車形、周縁小欠、立体装飾を持つ、中央楕円状抉り、抉り + 沈線 + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
254	2.30	1.97	1.95	8.90	100%	滑車形、中央楕円状抉り、抉り + 沈線 + 刺突、赤彩有り	H28		○(共用)	
255	(1.52)	(1.23)	1.40	2.80	70%	滑車形、下端部欠、中央突起 1、刻目周回	H28		○(共用)	
256	1.66	1.19	1.23	2.30	100%	滑車形、中央円孔 1、刻目文、赤彩有り	H28		○(共用)	
257	1.87	1.16	1.86	4.30	100%	滑車形、立体装飾を持つ、抉り + 沈線 + 刺突、赤彩有り	H28		○(共用)	
258	1.96	1.38	1.49	3.60	98%	滑車形、周縁小欠、立体装飾を持つ、中央円孔 1、抉り + 刺突 + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
259	1.85	1.18	1.25	2.20	100%	滑車形、立体装飾を持つ、中央円孔 1、抉り + 隆帯 + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
260	2.63	1.80	1.77	5.60	100%	滑車形、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 2、抉り + 沈線 + 刺突、赤彩有り	H28		○(共用)	
261	1.95	1.19	1.56	3.30	98%	滑車形、周縁小欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 2、抉り + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
262	1.84	1.21	1.39	2.10	100%	滑車形、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 2、抉り + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
263	2.05	1.60	1.59	3.70	98%	滑車形、小欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 2、抉り + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
264	2.78	1.88	1.84	5.90	98%	滑車形、周縁小欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 2、抉り + 沈線 + 刺突 + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
265	2.96	2.21	1.79	8.50	98%	滑車形、周縁小欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 2、抉り + 沈線 + 刺突 + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
266	1.96	1.40	1.39	2.70	100%	滑車形、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 2、抉り + 刺突 + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
267	3.01	2.39	1.67	8.50	100%	滑車形、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 2 抉り + 沈線 + 刺突 + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
268	3.38	2.68	1.62	8.60	98%	滑車形、小欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 4、抉り + 沈線 + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
269	3.83	2.78	1.96	(10.60)	80%	滑車形、周縁一部欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 2、抉り + 沈線 + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
270	3.14	2.63	1.71	8.90	98%	滑車形、小欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 2、抉り + 刻目、赤彩有り、整理番号 271 と酷似	H28		○(共用)	
271	3.02	2.29	1.71	8.30	98%	滑車形、小欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 2、抉り + 刻目、赤彩有り、整理番号 270 と酷似	H28		○(共用)	
272	3.36	2.67	1.85	11.10	98%	滑車形、小欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 2、抉り + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
273	3.20	2.26	1.70	6.50	98%	滑車形、周縁小欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 2、抉り + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
274	2.52	1.63	1.58	4.40	100%	滑車形、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 2、抉り + 沈線 + 刺突 + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
275	1.95	1.71	1.42	4.20	100%	滑車形、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 4、沈線 + 刺突 + 刻目、赤彩有り、整理番号 276 と酷似	H28		○(共用)	
276	1.86	1.63	1.40	3.50	100%	滑車形、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 4、沈線 + 刺突 + 刻目、赤彩有り、整理番号 275 と酷似	H28		○(共用)	

番号	最大径	最小径	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
277	2.56	1.66	1.61	4.50	100%	滑車形、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 2、抉り + 沈線 + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
278	2.82	2.09	1.53	5.30	98%	滑車形、周縁小欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 4、抉り + 沈線 + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
279	3.58	2.54	1.53	6.70	90%	滑車形、周縁一部欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 3、抉り + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
280	3.63	2.98	1.96	(10.10)	80%	滑車形、周縁一部欠、他小欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 4(うち 1 欠)、抉り + 刺突	H28		○(共用)	
281	3.67	2.79	1.74	9.70	90%	滑車形、一部欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 3(うち 2 欠)、赤彩有り、6 片接合	H28		○(共用)	
282	3.46	2.37	1.65	6.80	90%	滑車形、周縁一部欠、他小欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 3、赤彩有り、4 片接合	H28		○(共用)	
283	3.48	2.61	1.97	10.20	98%	滑車形、小欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 5、沈線 + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
284	(4.50)	－	2.04	(8.30)	50%	滑車形、半欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 2 残存、赤彩有り、4 片未接合	H28	解体・修復	○(共用)	
285	2.57	1.70	1.34	4.10	98%	滑車形、周縁小欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 5、細沈線、赤彩有り	H28		○(共用)	
286	3.42	2.41	1.78	9.20	100%	滑車形、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 5、沈線 + 刺突、赤彩有り、整理番号 287 と酷似	H28		○(共用)	
287	3.47	2.39	1.85	8.90	100%	滑車形、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 5、沈線 + 刺突、赤彩有り、整理番号 286 と酷似	H28		○(共用)	
288	3.42	2.53	1.69	6.80	90%	滑車形、周縁一部欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 5、赤彩有り	H28		○(共用)	
289	3.97	2.97	2.14	11.40	95%	滑車形、周縁小欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 4、赤彩有り	H28		○(共用)	
290	3.47	2.47	2.21	11.70	95%	滑車形、周縁小欠、他小欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 2、抉り + 刺突、赤彩有り	H28		○(共用)	
291	2.85	2.16	1.62	(5.50)	85%	滑車形、周縁一部欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 3、抉り + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
292	4.11	3.32	1.87	13.70	90%	滑車形、一部欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 2、抉り + 沈線 + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
293	4.40	3.92	1.96	(15.60)	70%	滑車形、周縁一部欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 1 残存、赤彩有り、3 片接合	H28	強化・復元	○(共用)	
294	4.47	3.70	2.19	(19.20)	80%	滑車形、周縁一部欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 4、抉り + 沈線 + 刻目	H28		○(共用)	
295	2.92	1.90	1.87	8.60	95%	滑車形、一部欠、立体装飾(透かし)を持つ、穿孔 1、抉り + 刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
296	2.71	2.45	1.19	5.70	80%	滑車形、透かし部摩滅、穿孔 3、刻目残存、赤彩有り	H28		○(共用)	
297	－	－	(2.01)	(7.20)	30%	周縁部片、立体装飾を持つ、穿孔 1 残存、赤彩有り、細身の橋状装飾か、千網谷戸タイプ	H28	強化	○(共用)	
298	－	－	(3.11)	(14.80)	20%	周縁部片、立体装飾を持つ、大形耳飾、赤彩有り、2 片未接合、千網谷戸タイプ	H28	強化・復元	○(共用)	
299	1.81	0.80	1.46	2.00	90%	栓形、花卉状突起 4(うち 1 欠)、中央円形刺突	H28	強化・復元	○(共用)	
300	1.34	0.79	1.18	1.40	98%	滑車形、花卉状突起 6(うち 2 欠)中央円形刺突	H28		○(共用)	
301	1.24	0.60	(1.68)	(1.90)	80%	栓形、下端部欠、中央刺突、刻目、赤彩有り	H28		○(共用)	
302	1.25	0.54	1.54	1.40	100%	栓形、沈線文、赤彩有り	H28		○(共用)	
303	1.07	0.84	1.43	2.10	100%	滑車形、中央凹み、無文	H28		○(共用)	
304	1.78	1.71	1.77	8.10	100%	滑車形、無文	H28		○(共用)	
305	2.55	2.23	2.69	20.90	100%	俵形、無文	H28		○(共用)	
306	2.34	2.07	2.25	14.80	100%	滑車形、無文	H28		○(共用)	
307	2.60	2.50	1.98	(10.60)	50%	滑車形、半欠、無文	H28		○(共用)	
308	2.53	2.33	2.64	22.10	100%	滑車形、無文	H28		○(共用)	
309	2.64	2.35	3.33	26.80	100%	滑車形、無文	H28		○(共用)	
310	2.24	1.69	3.48	20.50	100%	俵形、無文	H28		○(共用)	
311	2.56	1.86	3.18	23.30	100%	俵形、無文、成形粗雑	H28		○(共用)	
312	2.59	2.47	2.69	20.90	100%	俵形、無文、成形粗雑	H28		○(共用)	
313	3.11	2.80	3.14	35.60	100%	滑車形、無文、成形粗雑	H28		○(共用)	
314	3.31	3.14	2.82	40.80	100%	滑車形、中央凹み、無文	H28		○(共用)	
315	3.77	2.95	3.23	42.00	90%	滑車形、一部欠、無文	H28		○(共用)	
316	3.13	2.51	3.68	37.90	100%	俵形、無文	H28		○(共用)	
317	3.39	3.21	3.70	48.50	100%	俵形、無文	H28		○(共用)	

玉 7 点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
318	2.26	1.56	1.10	4.00	100%	勾玉、円孔 1	R2			○
319	1.67	0.82	0.83	1.00	100%	勾玉、穿孔無し	R2			○
320	4.50	2.00	2.04	15.00	100%	勾玉、円孔 1	R2			○
321	3.94	1.72	1.66	10.00	100%	勾玉、円孔 1	R2			○
322	1.18	1.14	1.18	1.60	100%	玉、中心部円孔 1	R2			○
323	1.14	0.96	0.82	1.10	100%	玉、中心部円孔 1	R2			○
324	0.94	0.90	0.78	0.50	100%	玉、中心部円孔 1	R2			○

木器・木製品　52 点

弓　32 点

番号	長	径	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
325	173.80	2.80	—	—	100%	樹種不明(イヌガヤカ)、針葉樹、弓筈彫刻有り、長弓、PG 処理	H26	強化	○(専用)	
326	177.00	3.00	—	—	100%	樹種不明(イヌガヤカ)、針葉樹、樹皮残存、本筈彫刻有り、末筈側加工途中、長弓、未成品、PG 処理	H26	強化	○(専用)	
327	(41.10)	2.80	—	—	50%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈側残欠、弓筈彫刻有り、折損部炭化、塗布物有り(黒漆か)、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
328	(52.00)	2.40	—	—	60%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈側残欠、弓筈彫刻有り、弓幹に擦痕有り、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
329	(73.00)	2.40	—	—	70%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈側残欠、弓筈彫刻有り、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
330	(75.50)	2.80	—	—	70%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈側残欠、弓筈緻密な彫刻有り、弓筈に付着物有り(黒漆か)、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
331	(83.00)	2.60	—	—	70%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈側残欠、弓筈彫刻有り、PG 処理、展示ボ ードに固定	H25	強化	○(共用)	
332	(56.00)	1.60	—	—	50%	樹種不明(イヌガヤカ)、本筈側残欠、弓筈彫刻有り、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
333	(67.40)	1.30	—	—	70%	樹種不明(イヌガヤカ)、本筈側残欠、弓筈刻み有り、一部擦痕有り、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
334	(65.80)	1.30	—	—	70%	樹種不明(イヌガヤカ)、本筈側残欠、弓筈刻み有り、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
335	(25.40)	1.60	—	—	30%	樹種不明(イヌガヤカ)、本筈側残欠、弓筈刻み有り、PG 処理	H27	強化	○(共用)	
336	(24.60)	1.40	—	—	30%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈残欠、弓筈刻み有り、PG 処理	H27	強化	○(共用)	
337	(17.30)	2.10	—	—	20%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈残欠、弓筈彫刻有り、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
338	(48.20)	1.60	—	—	50%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈残欠、未成品か、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
339	(79.30)	1.50	—	—	80%	イヌガヤ、本筈残欠、未成品か、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
340	(56.10)	1.90	—	—	60%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈残欠、弓筈刻み有り、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
341	(33.40)	1.20	—	—	70%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈残欠、弓筈彫刻有り、PG 処理	H27	強化	○(共用)	
342	(35.30)	1.60	—	—	60%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈残欠、弓筈彫刻有り、PG 処理	H27	強化	○(共用)	
343	75.40	1.10	—	—	100%	樹種不明(イヌガヤカ)、両弓筈共刻み有り、短弓、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
344	(11.40)	1.10	—	—	10%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈残欠、弓筈彫刻有り、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
345	(34.20)	1.60	—	—	50%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈残欠、弓筈彫刻有り、2 片接合、PG 処理	H27	強化	○(共用)	
346	67.00	1.10	—	—	100%	樹種不明(イヌガヤカ)、本筈刻み有り、末筈彫刻有り、短弓、2 片未接合、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
347	(73.50)	1.20	—	—	80%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈残欠、弓筈彫刻有り、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
348	(70.10)	1.70	—	—	70%	イヌガヤ、本筈残欠、弓筈刻み有り、未製品か、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
349	(38.70)	1.80	—	—	50%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈残欠、弓筈刻み有り、漆塗りか、PG 処理	H27	強化	○(共用)	
350	(83.00)	1.40	—	—	80%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈残欠、弓筈刻み有り、弓筈部分一部炭化、擦痕有り、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
351	(65.00)	1.70	—	—	70%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈残欠、弓筈刻み有り、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
352	(50.00)	1.20	—	—	60%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈残欠、弓筈刻み有り、PG 処理	H27	強化	○(共用)	
353	(47.20)	1.60	—	—	60%	樹種不明(イヌガヤカ)、末筈残欠、未成品か、PG 処理	H27	強化	○(共用)	
354	(66.00)	2.00	—	—	70%	イヌガヤ、本筈残欠、弓筈刻み有り、未成品、PG 処理	H26	強化	○(共用)	
355	(55.40)	2.70	—	—	50%	イヌガヤ、残欠、面取り有り、弓幹に刻み有り、未成品、PG 処理	H27	強化	○(共用)	
356	(74.50)	2.20	—	—	70%	イヌガヤ、残欠、末筈側に刻み有り、未成品、PG 処理	H26	強化	○(共用)	

石斧柄未製品　4 点

番号	全長	着部長	着部径	柄部径	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
357	108.50	28.60	4.60	3.60	100%	樹種不明(イヌガヤカ)、着部・柄部共はつり痕有り、未成品、PG 処理	H27	強化	○(専用)	
358	115.50	46.70	3.60	2.50	100%	樹種不明(イヌガヤカ)、着部・柄部共はつり痕有り、未成品、PG 処理	H27	強化	○(専用)	
359	138.50	49.00	4.30	3.90	100%	樹種不明(イヌガヤカ)、着部はつり痕有り、未成品、PG 処理	H27	強化	○(専用)	
360	105.00	35.50	4.10	3.20	100%	樹種不明(イヌガヤカ)、着部はつり面摩減、未成品、PG 処理	H27	強化	○(専用)	

權状木製品　11 点

番号	全長	權状部長	權状部幅	柄部径	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
361	60.70	15.00	5.60	2.90	100%	樹種不明(クヌギか)、先端部片歯形の丸加工、3 片未接合、PG 処理	H25	強化・接合	○(専用)	
362	91.50	20.50	6.00	2.70	100%	樹種不明(クヌギか)、先端部丸加工、柄頭部コブ状作出、7 片未接合、PG 処理、展示ボ ードに固定	H25	強化・接合	○(専用)	
363	136.50	56.00	8.00	4.00	100%	樹種不明(クヌギか)、先端部コブ状作出、柄頭部コブ状作出、3 片未接合、PG 処理	H25	強化	○(専用)	
364	113.50	43.00	6.50	3.00	100%	樹種不明(クヌギか)、先端部丸加工、權状部にみかん割形状残す、木肌残存、製作段階資料、2 片未接合、PG 処理	H25	強化	○(専用)	
365	99.50	37.50	8.50	3.00	95%	樹種不明(クヌギか)、先端部欠、權状部にみかん割形状残す、木肌残存、製作段階資料、5 片未接合、PG 処理、展示ボードに固定	H25	強化	○(専用)	
366	(79.50)	42.50	7.50	3.50	60%	樹種不明(クヌギか)、權状部磨き、柄部にみかん割形状やや残す、製作段階資料、PG 処理	H25	強化	○(専用)	

番号	全長	權状部長	權状部幅	柄部径	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
367	(49.50)	39.50	7.50	3.30	50%	樹種不明(クヌギか)、柄部欠、みかん割形状残す、木肌残存、製作段階資料、3 片未接合(他小破片有り)、PG 処理	H25	強化・接合	○(専用)	
368	113.50	23.50	7.50	9.00	100%	樹種不明(クヌギか)、權状部にみかん割形状残す、木肌残存、柄部素材形状やや残す、製作段階資料、3 片未接合、PG 処理	H25	強化	○(専用)	
369	116.50	54.00	7.50	3.20	100%	樹種不明(クヌギか)、全体的にみかん割形状残す、木肌残存、製作段階資料、2 片未接合、PG 処理	H25	強化	○(専用)	
370	101.00	51.00	6.50	3.00	100%	樹種不明(クヌギか)、全体的にみかん割形状残す、木肌残存、製作段階資料、3 片未接合、PG 処理	H25	強化	○(専用)	
371	(72.00)	—	—	(6.00)	100%	樹種不明(クヌギか)、みかん割形状の素材未成品、2 片未接合、PG 処理、展示ボ ードに固定	H25	強化・接合	○(専用)	

棒状木製品　2 点

番号	長	径	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
372	88.50	4.70	—	—	50%	樹種不明、有頭付棒状木製品、頭部残欠、先端摩減、全面に小単位の削り痕有り、PG 処理	H25	強化	○(専用)	
373	201.50	4.90	—	—	100%	樹種不明、有頭付棒状木製品未成品、半面加工、加工面全面に小単位の削り痕有り、半面は木肌面を残す、両端部摩減、PG 処理	H25	強化	○(専用)	

台状木製品　1 点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
374	42.80	23.80	5.20	—	100%	樹種不明、裏面 4 脚作出、PG 処理	H25	強化	○(専用)	

容器　1 点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
375	37.50	29.00	10.00	—	100%	樹種不明、容器未成品、半截の片材を素材とする、中心部くり貫き加工途中、PG 処理	H25	強化	○(専用)	

樹皮製品　1 点

番号	長径	単径	幅	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
376	5.60	2.50	1.80	—	100%	樹種不明、樹皮に繊維巻き(網代網状)、指抜状の編物、装着品か、PG 処理	H25	強化	○(専用)	

漆製品 13 点

弓 5 点

番号	長	径	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
377	(31.00)	(3.00)	－	－	30%	樹種不明、針葉樹、糸巻きを黒漆で固着、樹皮巻き痕有り、赤漆塗布痕有り、黒漆塗り、PG 処理	H24	強化	○(専用)	
378	(46.60)	2.50	－	－	50%	樹種不明、広葉樹、芯無材、糸巻きを黒漆で固着、糸巻き緻密、4 片未接合、PG 処理	H24	強化・接合	○(専用)	
379	(107.00)	2.50	－	－	80%	樹種不明、針葉樹、芯持ち材、赤漆塗り、黒漆塗り、糸巻きを黒漆で固着、装着式弓筈か、4 片未接合、PG 処理、保存台付	H24	強化	○(専用)	
380	(12.00)	2.60	－	－	10%	樹種不明、緻密な糸巻き後黒漆塗布、部分的に樹皮巻き後黒漆及び赤漆塗布、小破片 1 別置、PG 処理、保存台付	H24	強化	○(専用)	
381	(10.30)	2.30	－	－	10%	樹種不明、緻密な糸巻き後黒漆塗布、樹皮巻き後黒漆及び赤漆塗布、PG 処理、保存台付	H24	強化	○(専用)	

容器 2 点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
382	－	－	2.35	－	10%	樹種不明、容器口縁部残欠、表面に平行沈線有り、表裏面漆付着、3 片未接合、PG 処理、保存台付	H24	解体・強化・修復	○(専用)	
383	(6.20)	4.50	0.20	－	10%	藍胎漆器、容器口縁部残欠、口縁肥厚、全面漆塗り、PG 処理、保存台付	H24	強化	○(専用)	

櫛 4 点

番号	長	幅	厚	櫛歯長	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
384	14.30	9.50	1.30	8.00	90%	結歯式、頭部一部欠、櫛歯 2 本欠、頭部透かし、赤漆塗り、黒漆塗り、櫛歯樹種不明(芯無削り出し材)、2 片未接合(ほか 4 片別置)、PG 処理	H24	強化	○(専用)	
385	10.45	4.70	0.90	8.10	95%	結歯式、頭部一部欠、櫛歯 1 本欠、頭部透かし、赤漆塗り、黒漆塗り、櫛歯樹種不明(芯無削り出し材)、PG 処理	H24	強化	○(専用)	
386	13.25	(4.20)	1.00	8.25	80%	結歯式、頭部一部欠、櫛歯 6 本残存、赤漆塗り、黒漆塗り、櫛歯樹種不明(芯無削り出し材)、小破片別置、PG 処理	H24	強化・接合	○(専用)	
387	(2.10)	9.00	0.60	－	50%	結歯式、頭部残欠、櫛歯欠(櫛歯推定 15 本)、赤漆塗り、黒漆塗り、櫛歯樹種不明(芯無削り出し材)、3 片未接合、PG 処理	H24	強化	○(専用)	

簪残欠 1 点

番号	長	径	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
388	(4.70)	0.80	－	－	70%	樹種不明、赤漆塗、4 片未接合、穿孔 1、PG 処理	H24	強化・接合	○(専用)	

耳飾残欠 1 点

番号	径	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
389	6.30	－	2～0.1	－	60%	樹種不明、半欠品、中央部穿孔 1、赤漆塗、PG 処理	H24	強化	○(専用)	

石器・石製品 256 点

磨製石斧 5 点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
390	3.20	2.31	0.79	9.61	100%	蛇紋岩、定角小	R2			○
391	6.07	4.23	1.50	53.71	100%	蛇紋岩、定角小	R2			○
392	4.68	2.77	0.96	17.99	95%	緑色岩、定角小、刃部一部欠	R2			○
393	6.31	2.30	1.40	37.99	100%	頁岩、定角小	R2			○
394	11.77	6.23	3.62	410.00	100%	緑色岩、蛤形	R2			○

打製石斧 12 点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
395	21.00	8.50	3.50	815.00	100%	砂岩、短冊形、刃部磨耗				
396	17.70	8.40	3.30	600.00	100%	ホルンフェルス、撥形、刃部磨耗				
397	15.54	5.80	3.17	361.92	95%	砂岩、短冊形、一部欠				
398	16.50	11.50	5.40	1100.00	100%	砂岩、撥形、敲打痕有り				
399	12.00	9.50	2.20	320.00	100%	砂岩、撥形				
400	13.70	7.88	3.34	399.25	95%	砂岩、撥形、刃部一部欠				
401	15.27	7.78	3.23	520.00	95%	砂岩、分銅形、一部欠、刃部に付着物有り(漆か)				
402	15.60	6.76	2.00	270.81	100%	ホルンフェルス、分銅形				
403	16.36	7.33	2.66	365.38	100%	ホルンフェルス、分銅形、刃部磨耗				
404	14.77	6.47	2.12	285.48	100%	砂岩、分銅形、				
405	9.97	6.78	2.12	169.75	100%	ホルンフェルス、分銅形				
406	7.41	6.23	2.17	103.13	100%	ホルンフェルス、分銅形小				

石鏃 86 点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
407	2.17	1.26	0.53	0.90	100%	チャート、凸基有茎	R2			○
408	2.54	1.37	0.46	0.90	100%	チャート、凸基有茎	R2			○
409	2.28	1.40	0.43	0.89	100%	チャート、凹基無茎	R2			○
410	2.90	1.70	0.40	1.90	100%	チャート、凹基無茎	R2			○
411	2.53	1.83	0.40	0.90	100%	チャート、凹基無茎	R2			○
412	2.20	1.86	0.42	1.19	80%	頁岩、凹基有茎、先端部欠	R2			○
413	2.78	1.66	0.43	1.50	90%	チャート、凹基有茎、茎部欠	R2			○
414	1.95	1.98	0.55	1.62	70%	チャート、凹基有茎、先端部欠、茎部欠	R2			○
415	2.40	1.53	0.44	1.26	80%	黒色頁岩、凹基有茎、先端部欠、茎部欠	R2			○
416	3.80	1.80	0.65	2.90	100%	チャート、平基有茎	R2			○
417	2.04	1.83	0.64	1.40	95%	チャート、平基有茎、茎部欠	R2			○
418	3.24	1.53	0.42	1.61	100%	チャート、平基有茎	R2			○
419	1.85	1.24	0.33	0.51	95%	チャート、平基有茎、茎部欠	R2			○
420	2.80	2.00	0.40	1.20	95%	チャート、平基有茎、茎部欠	R2			○
421	2.96	1.85	0.54	1.90	95%	チャート、平基有茎、先端部微欠、茎部欠	R2			○
422	2.34	1.86	0.45	1.23	95%	頁岩、平基有茎、先端部微欠、茎部欠、基部に付着物有り(漆か)	R2			○
423	3.20	1.63	0.89	2.76	100%	チャート、平基有茎	R2			○
424	4.80	1.90	0.50	2.30	95%	チャート、平基有茎、先端部微欠	R2			○
425	2.28	1.64	0.45	1.23	90%	チャート、平基有茎、先端部欠、茎部欠	R2			○
426	2.94	2.05	0.50	2.19	90%	チャート、平基有茎、先端部欠	R2			○
427	3.72	2.05	0.70	3.29	100%	ホルンフェルス、平基有茎	R2			○
428	2.48	1.70	0.50	1.53	95%	チャート、平基有茎、茎部欠	R2			○
429	2.53	1.22	0.50	1.27	95%	チャート、凸基有茎、茎部欠	R2			○
430	2.06	1.29	0.54	1.40	95%	チャート、凸基有茎、茎部欠	R2			○
431	3.40	1.57	0.50	2.19	80%	ガラス質黒色安山岩、凸基有茎、先端部欠	R2			○
432	2.20	1.20	0.55	1.20	100%	チャート、凸基有茎	R2			○
433	2.43	1.20	0.36	0.79	100%	チャート、凸基有茎	R2			○
434	3.09	1.64	0.96	3.79	95%	チャート、凸基有茎、茎部欠	R2			○
435	2.81	1.30	0.46	1.25	95%	チャート、凸基有茎、先端部欠、基部欠	R2			○
436	2.07	1.59	0.55	1.90	90%	チャート、凸基有茎、基部欠	R2			○
437	1.91	1.03	0.46	0.64	100%	チャート、凸基有茎	R2			○

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
438	1.84	1.14	0.26	0.60	100%	チャート、凸基有茎	R2			○
439	2.12	1.26	0.33	0.57	100%	黒曜石、凸基有茎	R2			○
440	2.45	1.27	0.35	0.91	100%	チャート、凸基有茎	R2			○
441	2.64	1.40	0.58	0.99	100%	チャート、凸基有茎	R2			○
442	2.08	1.00	0.40	0.68	100%	チャート、凸基有茎	R2			○
443	1.70	0.97	0.54	0.82	100%	チャート、凸基有茎	R2			○
444	1.82	1.37	0.44	0.60	100%	チャート、凸基有茎	R2			○
445	2.12	1.61	0.46	1.50	100%	チャート、平基無茎	R2			○
446	1.86	1.68	0.60	1.59	95%	珪質頁岩、平基無茎、先端部欠	R2			○
447	1.67	1.24	0.38	0.68	100%	チャート、平基無茎	R2			○
448	1.95	1.40	0.46	1.04	100%	チャート、平基無茎	R2			○
449	2.40	1.64	0.64	2.06	95%	チャート、平基無茎、先端部欠	R2			○
450	1.24	0.96	0.25	0.30	95%	チャート、平基無茎、基部欠	R2			○
451	1.61	1.30	0.32	0.52	100%	チャート、平基無茎	R2			○
452	1.74	1.15	0.26	0.52	95%	チャート、凹基無茎、基部欠	R2			○
453	2.56	1.76	0.50	1.90	100%	チャート、凹基無茎	R2			○
454	1.80	1.07	0.39	0.56	100%	チャート、凹基無茎	R2			○
455	2.83	1.46	0.50	2.03	95%	ガラス質黒色安山岩、凹基無茎、先端部欠	R2			○
456	2.26	1.72	0.34	1.24	100%	チャート、凹基無茎	R2			○
457	2.54	1.24	0.55	1.15	95%	黒曜石、凹基無茎、基部欠	R2			○
458	2.50	1.60	0.45	1.20	98%	黒曜石、凹基無茎、先端部欠	R2			○
459	1.79	1.44	0.40	0.76	100%	珪質頁岩、凹基無茎	R2			○
460	2.80	1.36	0.23	0.35	100%	黒曜石、凹基無茎	R2			○
461	1.28	1.39	0.35	0.66	50%	水晶、凹基無茎、先端部欠	R2			○
462	2.12	1.40	0.48	0.92	100%	ガラス質黒色安山岩、凹基無茎	R2			○
463	1.77	1.65	0.32	0.83	70%	チャート、凹基無茎、先端部欠	R2			○
464	1.57	1.13	0.43	0.63	100%	チャート、凹基無茎	R2			○
465	1.53	1.16	0.50	0.59	90%	黒曜石、凹基無茎、先端部欠	R2			○
466	1.63	1.42	0.39	0.50	90%	黒曜石、凹基無茎、先端部欠	R2			○
467	1.52	1.13	0.34	0.42	100%	黒曜石、凹基無茎	R2			○
468	1.77	1.30	0.47	0.84	90%	チャート、凹基無茎、先端部欠	R2			○
469	1.64	1.25	0.38	0.51	95%	黒曜石、凹基無茎、先端部欠	R2			○
470	1.53	1.37	0.24	0.37	95%	黒曜石、凹基無茎、先端部欠	R2			○
471	1.72	1.25	0.27	0.55	100%	ホルンフェルス、凹基無茎	R2			○
472	2.26	1.52	0.46	1.58	90%	チャート、凹基無茎、先端部欠、基部欠	R2			○
473	1.90	1.24	0.28	0.44	90%	黒曜石、凹基無茎、先端部欠、基部欠	R2			○
474	1.90	1.70	0.40	0.70	100%	チャート、凹基無茎	R2			○
475	2.30	1.79	0.40	0.99	80%	チャート、凹基無茎、基部欠	R2			○
476	1.70	1.20	0.35	0.50	100%	チャート、凹基無茎	R2			○
477	2.17	1.43	0.38	0.89	90%	チャート、凹基無茎、基部欠	R2			○
478	1.10	0.90	0.25	0.20	100%	黒曜石、凹基無茎	R2			○
479	1.46	1.41	0.36	0.51	95%	チャート、凹基無茎、先端部欠	R2			○
480	1.70	1.57	0.31	0.47	100%	黒曜石、凹基無茎	R2			○
481	2.20	1.90	0.45	0.90	100%	黒曜石、凹基無茎	R2			○
482	3.70	1.60	0.43	1.73	90%	チャート、凹基無茎、基部欠	R2			○
483	2.75	1.55	0.43	1.66	70%	チャート、凹基無茎、先端部欠、基部欠	R2			○
484	3.56	2.00	0.53	3.24	95%	チャート、凹基無茎、先端部欠	R2			○
485	3.30	2.00	0.50	2.40	100%	チャート、凹基無茎	R2			○
486	3.10	2.00	0.50	2.00	95%	チャート、凹基無茎、先端部欠	R2			○
487	3.30	2.20	0.25	1.00	100%	チャート、凹基無茎	R2			○
488	2.51	2.40	0.96	4.30	100%	黒曜石、未成品	R2			○
489	2.65	2.08	0.68	4.11	100%	チャート、未成品	R2			○
490	2.84	2.00	0.82	3.74	95%	チャート、先端部欠、未成品	R2			○
491	2.86	2.81	0.90	6.05	100%	チャート、未成品	R2			○
492	1.84	1.39	0.49	0.98	100%	ガラス質黒色安山岩、未成品	R2			○

石錐 3点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
493	4.48	0.85	0.64	2.58	100%	チャート、先端磨耗	R2			○
494	1.80	1.35	0.35	0.70	100%	チャート	R2			○
495	4.70	1.70	0.65	2.60	100%	ホルンフェルス	R2			○

磨石・敲石・凹石 34点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
496	7.30	5.40	3.00	190.00	100%	デイスait、楕円形、磨痕有り、敲打痕有り、凹み有り				
497	6.20	3.67	3.07	113.46	100%	チャート、楕円形、磨痕有り				
498	10.84	7.00	5.63	625.00	100%	安山岩、楕円形、磨痕有り				
499	10.80	7.27	6.60	800.00	100%	砂岩、磨痕有り、敲打痕有り				
500	17.70	9.18	6.13	1620.00	100%	砂岩、楕円形、磨痕有り、敲打痕有り				
501	20.04	7.89	6.92	1820.00	100%	安山岩、方形、磨痕有り、敲打痕有り、凹み有り				
502	7.64	4.70	3.86	209.63	100%	安山岩、方形、磨痕有り、凹み有り				
503	10.22	4.43	4.77	394.28	100%	安山岩、方形、磨痕有り、敲打痕有り、凹み有り、顔料付着				
504	10.70	9.90	9.90	1570.00	100%	閃緑岩、円形、磨痕有り				
505	7.70	5.20	3.10	186.73	100%	閃緑岩、楕円形、磨痕有り				
506	6.68	5.48	3.88	195.50	100%	砂岩、楕円形、磨痕有り				
507	12.39	3.77	3.07	274.72	100%	凝灰岩、棒状、敲打痕有り				
508	9.78	6.05	3.90	410.00	100%	安山岩、方形、磨痕有り、敲打痕有り、凹み有り				
509	10.12	6.71	5.86	590.00	100%	砂岩、楕円形、磨痕有り、敲打痕有り				
510	11.87	6.93	4.38	645.00	100%	閃緑岩、方形、磨痕有り、敲打痕有り				
511	9.05	7.72	3.97	415.00	100%	閃緑岩、円形、磨痕有り、敲打痕有り				
512	10.06	7.50	4.82	600.00	100%	安山岩、方形、磨痕有り、敲打痕有り				
513	10.02	7.74	5.67	720.00	100%	安山岩、方形、磨痕有り、敲打痕有り				
514	7.67	6.54	5.69	480.00	100%	安山岩、円形、磨痕有り、敲打痕有り				
515	9.10	6.85	4.16	430.00	100%	安山岩、方形、磨痕有り、敲打痕有り				
516	8.70	6.70	4.00	335.46	100%	ホルンフェルス、楕円形、磨痕有り、敲打痕有り				
517	19.90	8.77	6.80	1750.00	100%	輝石安山岩、楕円形、磨痕有り、敲打痕有り				
518	8.54	6.02	4.76	374.94	100%	砂岩、円形、磨痕有り				
519	5.49	5.10	3.90	165.71	100%	角閃石輝石安山岩、円形、磨痕有り				
520	9.34	8.67	5.32	655.00	100%	輝石安山岩、円形、磨痕有り				
521	6.17	5.68	4.66	201.07	100%	スコリア質輝石安山岩、円形、磨痕有り、凹み有り				
522	8.50	8.40	3.70	485.00	100%	閃緑岩、円形、磨痕有り、凹み有り				
523	11.73	10.00	4.40	700.00	100%	輝石安山岩、円形、磨痕有り、敲打痕有り、凹み有り				
524	9.39	7.90	3.40	231.61	90%	スコリア質安山岩、円形、一部欠、磨痕有り、敲打痕有り、凹み有り				
525	7.74	7.00	5.80	480.00	100%	輝石安山岩、方形、磨痕有り、凹み有り				
526	6.63	5.88	4.24	280.80	100%	輝石安山岩、方形、磨痕有り、凹み有り				
527	7.96	7.08	4.30	372.78	95%	輝石安山岩、方形、一部欠、磨痕有り、凹み有り				
528	11.64	7.36	5.84	955.00	100%	閃緑岩、方形、磨痕有り、凹み有り				
529	8.80	6.50	4.30	450.00	100%	閃緑岩、方形、磨痕有り、凹み有り				

石皿残欠 2点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
530	(22.00)	(25.00)	4.30	3100.00	－%	点紋緑泥石片岩、残欠、凹み有り、2片接合	R2	解体・修復		
531	(11.00)	14.50	1.85	880.00	－%	輝石安山岩、残欠、凹み有り				

砥石 5点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
532	13.16	6.62	1.24	111.98	95%	砂岩、撥形、端部小欠、溝有り	R2			○
533	16.09	8.19	1.20	156.24	100%	砂岩、撥形、溝有り	R2			○
534	13.00	5.36	1.40	91.36	100%	砂岩、撥形、溝有り	R2			○
535	13.04	5.56	1.44	58.97	100%	砂岩、撥形、溝有り	R2			○
536	21.80	5.13	1.84	209.18	100%	砂岩、縦長、溝有り、2片接合	R2			○

石錘 28点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
537	3.97	3.88	1.15	29.10	100%	ホルンフェルス、礫、方形、両端敲打	R2			○
538	5.75	3.57	0.90	26.80	100%	泥岩、切目、楕円形、上下左右に切目	R2			○
539	4.45	2.90	2.02	23.70	100%	軽石、有溝、楕円形、縦横有溝	R2			○
540	3.52	2.84	1.68	16.22	95%	砂岩、有溝、楕円形、端部小欠、縦横有溝	R2			○
541	6.16	2.25	1.24	25.65	100%	泥岩、有溝、縦長楕円形、横有溝、両端切目	R2			○
542	7.18	3.34	1.22	41.30	100%	泥岩、切目、縦長楕円形、両端切目	R2			○
543	6.01	2.91	1.42	39.40	100%	粘板岩、切目、縦長楕円形、両端切目	R2			○
544	5.26	3.30	1.07	27.70	100%	泥岩、切目、楕円形、両端切目	R2			○
545	6.55	4.24	0.88	28.20	80%	緑泥石片岩、切目、楕円形、一部欠、両端切目	R2			○
546	3.92	3.15	0.98	15.60	100%	砂岩、切目、楕円形、両端切目	R2			○
547	5.30	4.60	1.31	53.00	100%	安山岩、切目、楕円形、両端敲打後切目	R2			○
548	6.13	4.32	1.02	40.00	100%	泥質砂岩、切目、楕円形、両端敲打後切目	R2			○
549	5.44	4.89	1.22	50.40	100%	ホルンフェルス、礫、楕円形、両端敲打	R2			○
550	4.34	3.38	0.79	17.40	100%	ホルンフェルス、礫、楕円形、両端敲打	R2			○
551	4.61	3.41	1.22	30.20	100%	ホルンフェルス、礫、楕円形、両端敲打	R2			○
552	5.14	4.04	1.76	49.80	100%	砂岩、礫、楕円形、両端敲打	R2			○
553	5.83	3.72	1.36	48.30	100%	砂岩、礫、楕円形、両端敲打	R2			○
554	8.36	5.09	2.24	147.00	100%	砂岩、礫、楕円形、両端敲打	R2			○
555	4.54	3.11	0.86	18.70	100%	砂質頁岩、有溝、楕円形、縦有溝	R2			○
556	5.00	3.35	1.50	29.81	100%	砂質頁岩、有溝、楕円形、縦有溝	R2			○
557	3.71	2.41	1.15	13.70	100%	砂岩、有溝、楕円形、縦有溝	R2			○
558	5.30	4.01	1.40	37.20	90%	砂岩、切目、楕円形、一部欠、両端切目	R2			○
559	5.00	3.30	1.40	36.65	100%	輝石安山岩、切目、楕円形、両端切目	R2			○
560	6.05	4.98	1.54	63.00	100%	砂岩、切目、楕円形、片端切目、片端敲打	R2			○
561	4.26	3.86	1.00	21.80	100%	砂岩、切目、楕円形、片端切目、片端敲打	R2			○
562	4.90	3.83	1.38	38.40	100%	砂岩、礫、楕円形、両端敲打	R2			○
563	4.31	3.87	0.90	21.80	100%	砂岩、礫、円形、両端敲打	R2			○
564	6.90	2.76	1.12	33.20	100%	砂岩、礫、縦長楕円形、両端敲打	R2			○

軽石製品 4点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
565	10.18	6.54	2.22	51.50	100%	穿孔 1	R2			○
566	11.90	5.89	2.73	44.50	100%	穿孔 1	R2			○
567	9.34	6.10	1.88	33.80	95%	端部一部欠、穿孔 1	R2			○
568	6.10	5.72	1.50	24.50	95%	端部一部欠、穿孔 1	R2			○

石剣・石棒 11点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
569	(5.60)	4.40	3.30	110.00	－%	頁岩、頭部残欠、矢羽状線刻有り	R2			○
570	(3.40)	4.80	3.30	92.00	－%	頁岩、頭部残欠、雷文、線刻有り	R2			○
571	(13.48)	4.76	4.01	510.00	－%	点紋緑泥石片岩、頭部残欠	R2			○
572	(37.80)	12.00	10.70	6450.00	－%	緑色岩、頭部残欠、頭部磨耗、折損部磨耗、凹み有り、大形石棒	R2			○
573	(11.40)	3.00	2.10	118.00	－%	粘板岩、頭部残欠、三角文、線刻有り	R2			○
574	8.90	1.96	1.39	39.18	100%	石材不明、頭部線刻有り、敲打痕有り、折損部再生か	R2			○
575	(14.35)	2.84	1.46	110.00	－%	緑色岩、頭部残欠、頭部磨き有り	R2			○
576	(22.90)	4.24	2.05	390.00	－%	緑泥石片岩、頭部残欠、敲打痕有り	R2			○
577	(37.38)	5.70	1.93	710.00	－%	点紋緑泥石片岩、頭部残欠、2 未片接合	R2	解体・修復		○
578	(19.60)	4.61	2.83	500.00	－%	緑泥石片岩、頭部残欠、敲打痕有り	R2			○
579	(15.15)	7.44	6.59	1210.00	－%	緑泥石片岩、頭部残欠、凹み有り	R2			○

独鈷石 3点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
580	16.80	6.70	3.20	290.70	95%	緑色岩、片端部小欠、敲打痕有り、磨き有り	R2			○
581	13.80	5.10	3.50	303.90	70%	緑色岩、片端部一部欠、敲打痕有り、磨き有り	R2			○
582	(9.60)	5.10	3.20	201.68	60%	角閃石輝石安山岩、片端部欠、敲打痕有り、磨き有り、2 片接合	R2			○

岩版残欠 2点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
583	(14.30)	(12.60)	3.10	－	50%	砂質凝灰岩、穿孔 1、沈線、矢羽状文様、円形刺突 1、2 片接合	R2			○
584	(7.90)	(7.00)	3.30	118.60	30%	砂質凝灰岩、穿孔 1、弧線文、渦巻き文、矢羽状文様、側面に赤彩有り	R2			○

玉 61点

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
585	1.10	0.70	0.43	0.59	100%	硬玉、玉(縦長形)	R2			○
586	1.38	1.24	1.07	2.50	100%	滑石、玉	R2			○
587	1.13	1.00	0.82	1.20	100%	蛇紋岩、玉	R2			○
588	0.73	0.70	0.45	0.20	100%	硬玉、玉	R2			○
589	0.95	0.95	0.54	0.90	100%	滑石、玉	R2			○
590	1.04	1.03	0.70	1.20	100%	硬玉、玉	R2			○
591	0.92	0.89	0.54	0.50	100%	硬玉、玉	R2			○
592	1.26	1.25	0.86	2.20	100%	硬玉、玉	R2			○
593	1.19	1.17	0.99	1.80	100%	硬玉、玉	R2			○
594	0.90	0.88	0.64	0.80	100%	硬玉、玉	R2			○
595	0.91	0.89	0.70	0.70	100%	硬玉、玉	R2			○
596	0.95	0.93	0.76	0.70	100%	硬玉、玉	R2			○
597	1.30	1.30	0.95	2.10	98%	硬玉、玉、一部小欠	R2			○
598	0.79	(0.64)	0.53	0.40	60%	硬玉、玉、一部欠	R2			○
599	1.30	1.20	1.24	3.10	100%	硬玉、玉	R2			○
600	0.73	0.70	0.46	0.40	100%	硬玉、玉	R2			○
601	0.69	0.68	0.54	0.40	100%	硬玉、玉	R2			○
602	1.05	1.04	0.76	1.10	100%	硬玉、玉	R2			○
603	0.96	0.95	0.66	0.90	100%	硬玉、玉	R2			○
604	1.14	1.07	0.67	1.00	100%	硬玉、玉	R2			○
605	1.00	0.98	0.76	1.00	100%	硬玉、玉	R2			○
606	1.02	1.01	0.70	0.60	100%	硬玉、玉	R2			○
607	1.08	1.04	0.70	1.20	100%	硬玉、玉	R2			○
608	1.10	1.00	0.67	0.90	100%	硬玉、玉	R2			○
609	1.23	1.22	0.67	1.30	100%	硬玉、玉	R2			○
610	1.27	1.23	0.80	1.30	98%	硬玉、玉、一部小欠	R2			○
611	0.87	(0.80)	0.55	0.40	70%	石材不明、玉	R2			○
612	0.84	0.82	0.50	0.30	100%	硬玉、玉	R2			○
613	0.86	0.79	0.60	0.50	100%	硬玉、玉	R2			○
614	0.98	0.92	0.48	0.60	100%	硬玉、玉	R2			○
615	1.30	(1.28)	0.74	1.50	90%	硬玉、玉、一部欠	R2			○
616	0.88	0.85	0.25	0.30	100%	硬玉、玉	R2			○
617	0.88	0.80	0.47	0.40	100%	石材不明、玉	R2			○
618	1.20	0.84	0.37	0.50	100%	石材不明、玉	R2			○
619	1.13	(1.02)	0.56	0.70	70%	硬玉、玉、一部欠	R2			○
620	0.91	0.82	0.20	0.20	100%	石材不明、玉	R2			○
621	0.85	0.82	0.33	0.30	100%	硬玉、玉	R2			○
622	0.90	0.81	1.10	0.90	100%	石材不明、管玉	R2			○
623	1.04	0.92	1.40	2.00	100%	蛇紋岩、管玉	R2			○
624	2.02	1.18	0.77	3.20	100%	硬玉、玉(縦長形)	R2			○
625	1.64	1.08	0.40	1.20	95%	硬玉、玉(縦長形)	R2			○
626	1.15	0.88	0.40	0.30	100%	石材不明、玉(縦長形)、突起状作り出し 1	R2			○
627	1.24	0.79	0.62	0.90	100%	硬玉、玉(縦長形)	R2			○
628	1.58	0.70	0.32	0.70	100%	硬玉、玉(縦長形)	R2			○
629	2.50	1.40	0.84	4.50	100%	硬玉、玉(縦長形)	R2			○
630	1.50	0.93	0.68	1.50	100%	硬玉、玉(縦長形)	R2			○
631	1.38	0.73	0.39	0.70	100%	硬玉、勾玉	R2			○
632	1.10	0.73	0.46	1.00	100%	硬玉、玉(台形)	R2			○
633	1.95	1.17	0.35	1.00	100%	蛇紋岩、勾玉	R2			○

番号	長	幅	厚	重量(g)	遺存度	品質形状等	事業年度	修理内容	保存箱	保存棚
634	2.75	1.94	0.85	7.80	100%	硬玉、勾玉、頭部刻み装飾有り	R2			○
635	3.05	1.96	1.06	10.80	100%	硬玉、勾玉、頭部刻み装飾有り	R2			○
636	2.28	1.24	0.70	2.30	100%	硬玉、勾玉、頭部刻み装飾有り	R2			○
637	3.12	1.96	0.26	2.20	100%	蛇紋岩、勾玉	R2			○
638	(2.30)	(1.00)	0.89	3.60	－%	蛇紋岩、勾玉、両端部欠	R2			○
639	(3.25)	1.41	0.37	2.60	60%	頁岩、垂飾、片端部欠	R2			○
640	3.12	1.80	0.38	3.20	98%	砂岩、垂飾、一部小欠	R2			○
641	3.47	2.39	0.41	5.60	90%	砂質頁岩、垂飾、一部欠	R2			○
642	2.57	2.35	0.34	3.30	100%	頁岩、垂飾	R2			○
643	(1.90)	(1.53)	0.26	0.80	－%	石材不明、垂飾、残欠	R2			○
644	1.72	0.71	0.19	0.40	100%	石材不明、垂飾	R2			○
645	(1.55)	1.23	0.30	0.80	60%	石材不明、垂飾、片端部欠	R2			○

Ⅳ 後谷遺跡を振り返る ―発掘調査者の記録―

1 後谷遺跡第4次発掘調査に至るまで

後谷遺跡は、古くは綾瀬川流域の河道であった沖積地に突き出た舌状台地及びその周辺の低地に立地します。

かつての遺跡の景観は、江戸時代における赤堀川の開削や近代以降の耕地整理によって、大きくその姿を変えてきました。特に大正7年（1918）に行われた耕地整理に伴う開田によって、遺跡が立地した台地は大きく削られ、その土砂によって沼地を埋め立てました。さらに、昭和30年代にも耕地整理や排水工事は継続し、破壊された遺跡から出土した土器が知られるようになり、地元の郷土史家による資料の採集が行われました。

昭和40年3月26日の新聞に、埼玉県内において初めて縄文時代晩

期の遮光器土偶が発見されたことが報じられました。このことをきっかけとして浦和考古学会会員が遺跡を訪ね、遺跡の破壊が進む現状を見て、調査が行われることになりました。現在、第1次発掘調査とされている浦和考古学会による発掘調査は、埼玉考古学会会長である三友国五郎氏の指導のもとで、昭和40年（1965）8月15日に行われ、土壌から縄文時代晩期の大型土偶が発見され、注目を集めました。

昭和50年代に至ると、都市開発の進む埼玉県内においては、自治

体における埋蔵文化財保護体制が整い、事前協議によって遺跡の保護が図られるようになりました。後谷遺跡においては、公共工事にともなう事前協議を経て、昭和50年（1975）と昭和55年（1980）にそれぞれ記録保存を目的とした発掘調査が実施されました。

現在、第2次発掘調査とされている発掘調査は、荒川左岸北部広域下水道の敷設に伴い、昭和50年10月から同年12月にかけて後谷遺跡の北側の台地縁辺において行われました。この調査では、縄文時代晩期中葉の遺物包含層から高い密度で土器や石器が発見され、焼けた獣骨片が伴うことが注目されました。

この調査では遺跡の分析が詳細に行われ、その報告書は後の後谷遺跡の理解の基礎となるものとなりました。出土した土器は縄文時代中期後半から後期の資料も発見されていますが、その堆積状況から、遺跡は縄文時代晩期安行式土器の時代に営まれたとされています。

第3次発掘調査は、第2次発掘調査に隣接する市道の改修工事に伴い実施されました。この調査では第2次発掘調査で確認された縄文時代晩期の包含層を広範囲に確認することになりました。基底のローム層上層まで縄文時代晩期中葉の遺物包含層が存在したことから、後谷遺跡が立地する舌状台地においては、縄文時代晩期中葉を主として遺跡が営まれたと結論づける所見となりました。

参考文献

青木義脩ほか 『浦和考古学会研究調査報告第3集 後谷遺跡』 浦和考古学会 1970

吉川國男 田部井功 『後谷遺跡』1979 後谷遺跡発掘調査会

田部井功 今井正文『桶川市文化財調査報告書第14集 後谷遺跡』1982 桶川市教育委員会



昭和40年発見の遮光器土偶

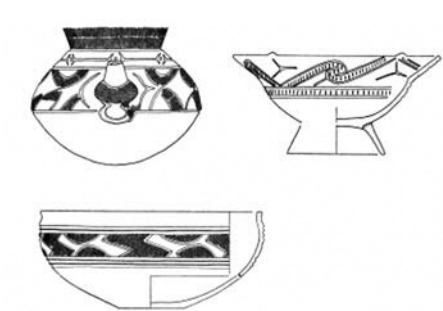


図1 第2次発掘調査出土土器

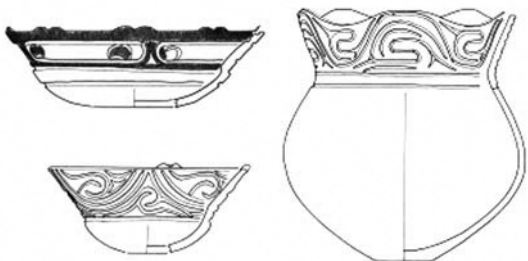


図2 第2次発掘調査出土土器

2 後谷遺跡保存へのスタート地点 ー発掘調査の事前協議ー

昭和 50 年代に入ると都市開発が急激に進展し、桶川市において都市基盤の整備は急務となり、桶川駅西口の再開発と並んで、桶川市の経済基盤を確立するための工業団地の開発が後谷遺跡の所在する市内東部の加納地区において計画されました。

昭和 57 年 12 月 24 日付け桶企財第 607 号において、桶川市加納字後谷地区工業団地造成事業に関わる後谷遺跡の取り扱いについての調整の依頼が桶川市長から桶川市教育委員会教育長に対してなされました。

その中で、この事業は、民間活力の導入を図り、人口増の停滞による税の減収などの問題を解決し、「うるおいのあるおちついた文化都市桶川」のために実現しなければならないものと明記されていました。

桶川市教育委員会では、開発計画における埋蔵文化財の取り扱いにの基礎資料を得るために、^{はん い かくにんちよう}範囲確認調査を目的とする^{しくつちよう さ}試掘調査が必要であるとして、昭和 58 年 2 月 16 日付け桶教社第 69 号で桶川市企画財政課（当時）に対して調査計画書を提出しました。

当時の桶川市教育委員会は、昭和 55 年度から昭和 57 年度にかけて市内全域の埋蔵文化財包蔵地の範囲の見直しを行っていました。この事業は、都市開発の中で滅失の危機に直面していた埋蔵文化財の保護にあたり、開発計画との事前協議に用いる基礎資料を整備することを目的としていました。同時に事前協議においては、開発予定地における埋蔵文化財の所在を試掘調査によって具体的に把握し、開発計画と文化財保護の調整を行っていました。桶川市はこの方針に理解を示し、試掘調査の結果をもって開発計画の中に後谷遺跡の保護を位置づけることに同意しました。桶川市教育委員会は、後谷遺跡調査会を受託団体とし、開発者である株式会社間組との間において、試掘調査に関わる委託契約を昭和 59 年 1 月 27 日に締結しました。

3 試掘調査の開始

（1）事前の検討

桶川市教育委員会社会教育課文化財担当（当時）では、試掘調査に先立ち、開発予定地内の後谷遺跡の理解のために以下のことを行いました。

・過去の調査事例の評価

過去の後谷遺跡の発掘調査では、舌状台地上の遺物包含層を調査の対象とし、縄文時代晩期を主体とする遺跡であると認識した。

・地形の復元

大正期の^{ち せき ず}地籍図（旧加納村所蔵資料）にて、遺跡をのせる^{きゆうじよう}舌状台地の旧状を確認した。その結果、遺跡の南側の水田の下に台地縁辺の遺物包含層の所在を予想した。

・地質調査資料の確認

後谷遺跡は、低地から土器などの遺物が採集されていることもあり、いわゆる^{でいたんそういせき}泥炭層遺跡である可能性をもっていたため、低地における包含層の存在について検討する必要があった。

そのため、第 2 次発掘調査に掲載されている堀口万吉教授（埼玉大学）の地質分析資料を用いた。この地質調査資料は、調査の原因となった荒川左岸北部流域下水道工事において行ったボーリングデータと、発掘調査と同時に埼玉大学が行ったハンドオーガーボーリングのデータによるものである。図示したハンドオーガーボーリングには、2 枚の^{でいたんしつねんどそう}泥炭質粘土層が確認されている。しかしながら、後谷遺跡が営まれた縄文時代晩期の包含層と低湿地部の堆積層との関連は不明であった。

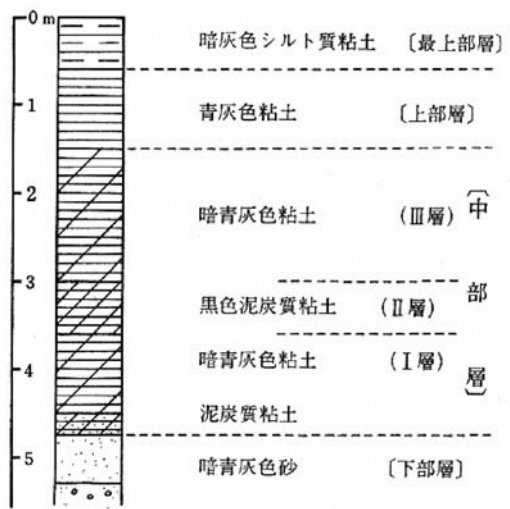


図3 ハンドオーガーボーリング柱状図

（2）試掘調査の実施

試掘調査実施は、契約締結後から同年 3 月 31 日の間、実調査日数 24 日間にわたって実施しました。試掘調査の対象地が低湿地を含むことから、地下水位の低下する冬期に調査期間を設定しました。しかし、この年は度重なる降雪に見舞われ、出水により調査は困難を伴いました。

調査は、遺跡全体を対象として、残存する舌状台地を A 地点、水田となっている低湿地部を B 地点として、グリッドとトレンチを併用して^{しくつこう}試掘坑を設定しました。

・A 地点 台地部 12 カ所に方形のグリッド

・B 地点 低湿地部 3 カ所のトレンチ 4 カ所のグリッド

両地点における試掘調査の所見は以下のとおりです。

・A 地点所見

縄文時代中期後半の^{か そり}加曽利 E II ～ III 式土器とともに、^{じゅうきよあと}住居跡の所在が確認された。また、縄文時代後期の遺物包含層を一部確認したが、住居跡などの遺構の発見には至らなかった。

・B 地点所見

この地点は水田となっているが、かつて舌状台地の先端が張り出していたことを大正時代の地籍図から認識しており、試掘調査においてもこのことが確認された。耕地整理による^{さくへい}削平をまぬがれた台地の縁辺部においては、縄文時代後期後半の土器を出土する遺物包含層が確認された。遺物包含層の層厚は 50cm から 80 cm を測り、3 枚に分層されることが確認された。包含層中には土器のほかに焼けた獣骨の破片がともに発見されている。また、水田の耕作土の下に^{せいはいくしよく}青白色の粘土質土を^{ねんどしつど}基盤とした面が確認され、^{ろあと}炉跡や^{ちゆうけつじよう}柱穴状のピットなどの遺構が検出されている。

以上のことから、失われた舌状台地の先端部においては、^{まいぼつ}埋没した台地の平坦面に^{へいたんめん}縄文時代後期の^{しゅうらく}集落が、また、低地に向かっては遺物包含層が存在することが確認されました。なお、B 地点において設定したトレンチにおいて削平された舌状台地における遺物包含層の有無について確認したところ、トレンチ 1 及び 2 においては、台地平坦面では水田の耕作土の下に、遺物分布は^{きはく}稀薄ながらも一部縄文時代晩期の遺物包含層が確認されました。また、トレンチ 1 及び 3 については、^{だい ちけんぶ}台地肩部から低地に至る間に縄文時代晩期の^{でいたんしつ}泥炭質の遺物包含層を確認しましたが、出水のため、1 m を超える深度の掘削を行うことができませんでした。

4. 後谷遺跡の保存に向けた計画と運営

試掘調査の結果をもとに、桶川市と桶川市教育委員会は、工業団地開発予定地内における後谷遺跡の保存についての協議を続け、以下の基本方針を確認しました。

（1）遺跡の保存計画

・試掘調査地点は、開発計画から除外する。

・試掘調査 B 地点の約半分は、開発計画の中で公園緑地とし、遺跡の保存を図る。

・試掘調査 B 地点のうち、約 14,000㎡については、記録保存を目的とする発掘調査を実施する。

（2）発掘調査の運営

・発掘調査区

I 区 調査面積 6,000㎡ II 区 調査面積 5,000㎡ III 区 調査面積 3,000㎡

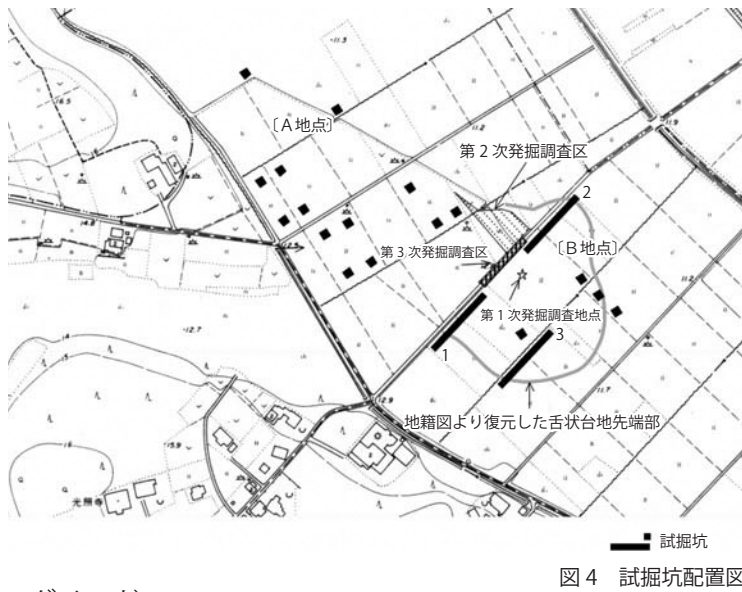


図4 試掘坑配置図

・発掘調査の方法

発掘調査区全面に 20 m× 20 m のグリッドを設定し、遺物包含層の発掘を進める。

・排水工事について

発掘調査区が広く、鋼矢板による土留めは困難であることから、調査区の法面を設けて崩壊を防止しながら、排水溝と排水設備を出水に応じて適宜設置することとする。

・出土遺物及び遺構の測量について

発掘区が低湿地にあたることから、通常の測量が困難となるため、光波測量機を用いて測量を行い、位置データを電算処理することとし、必要に応じて航空測量を実施することとした。

・有機遺物の取り扱いについて

木製品や動植物の遺存体などの、有機遺物の発見が予想されることから、保存科学に識見を有する調査員を配置した。

こうして、昭和 62 年から平成元年まで行われた後谷遺跡第 4 次発掘調査が始まりました。

5. 後世に引き継ぐべき課題 ーまとめにかえてー

第 4 次発掘調査の成果については、すでに発掘調査報告書が刊行されているため、ここでは割愛します。第 4 次発掘調査で出土した多くの出土品が平成 23 年に国指定重要文化財に指定されたことで、その重要性は広く認知されました。また、桶川市は、平成 2 年度に出土品を保存活用する施設として桶川市歴史民俗資料館の設立を決定しました。この時から、国庫補助金の交付を受けて木製品及び漆製品の保存処理事業を行い、今日に至っています。調査の経過を振り返る中で、後世に引き継ぐべき課題の一端をここに記します。

(1) 遺跡の理解について

後谷遺跡の発掘調査の結果、最低位の段丘面にあった縄文時代中期及び後期の集落が埋没し、さらに集落から続く旧表土層は現在の水田面から約 3 m 下位に確認されました。後谷遺跡の立地する赤堀川の谷は、旧綾瀬川流域にあたり、縄文時代後期後半には利根川が流入していたとされています。このことは、後谷遺跡が激しい水域環境の変化の中で形成された遺跡であることを示しています。

しかしながら、調査に先立つ試掘調査は低地の表層近くにとどまり、水域環境の変化に伴って深部に形成された遺跡への認識が乏しかったことは否めません。後谷遺跡に後続する縄文時代の遺跡研究の中で、平成 2 年に発掘調査が行われた栃木県小山市に所在する寺野東遺跡では、縄文時代晩期の「環状盛土遺構」が発見され、縄文時代の社会を物語る史跡として国指定重要文化財に指定されました。今、後谷遺跡の発掘調査の成果を振り返る中で指摘すべきは、これと同様の遺跡である可能性です。現代の考古学研究の中の成果をふまえて、後谷遺跡の再評価を進めていくことが必要であると考えます。

(2) 出土資料の保存と活用について

発掘調査では、現地での一次的な資料の保存処理を臨機応変に行いました。このことが、今回保存修理事業の対象となった後谷遺跡出土品の保存に結びついています。低湿地遺跡の発掘調査においては、有機遺物の取り扱いは避けられません。後谷遺跡発掘調査における経験を伝え、活かすことに努めたいと思います。

今回の保存修理の対象となった資料の他にも、調査において発生した膨大な写真や測量データなどが桶川市歴史民俗資料館に保管されています。今後、国指定重要文化財埼玉県後谷遺跡出土品を活用するにあたっては、発掘調査資料のデジタル化を進め、新たな観点から縄文時代の文化を物語る資料として、未来へ繋いで行ける活用環境を整えてほしいと願っています。

参考文献

『熊谷市史研究』第 3 号「荒川の流路と遺跡 - 荒川新扇状地の形成と流路の様子 -」2011

重要文化財埼玉県後谷遺跡出土品保存修理事業	
未来へ繋ぐ 縄文の美と技	
令和 3 年 3 月 31 日	
発 行	桶川市教育委員会 〒 363-0854 埼玉県桶川市泉一丁目 3-28
印 刷	朝日印刷工業株式会社 〒 371-0846 群馬県前橋市元総社町 67 番地



Okegawa City Board of Education